

予算科目	5 款	労働費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																															
	1 項	労働福祉費		第 1 節	賑わいと活気にあふれる商工業の振興																																															
	1 目	労働福祉費		(2)	就業環境の充実を図る																																															
担当課	産業部商工課		中 事業	労働者対策費																																																
実施計画掲載ページ	P 87		事業名	中小企業勤労者総合福祉事業																																																
目的及び事業内容	<p>(一財)石巻地区勤労者福祉サービスセンターに補助金を交付して運営を支援することにより、中小企業が単独では実施できない労働福祉事業の共同化を促進し、勤労者の労働福祉向上と中小企業の振興を図る。</p>																																																			
取組実績	<p>1 石巻地区勤労者福祉サービスセンター運営費補助金 15,000,000円</p> <p>2 石巻地区勤労者福祉サービスセンター事業実績</p> <p>(1) 在職中の生活安定に係る事業 (共済給付事業・生活資金融資あっせん事業)</p> <p>(2) 健康の維持増進に係る事業 (健康管理事業・スポーツ大会等事業・体育施設利用助成事業)</p> <p>(3) 老後生活の安定に係る事業および財産形成に係る事業 (中退共制度普及事業)</p> <p>(4) 自己啓発および余暇活動に係る事業 (自己啓発事業・割引事業)</p> <p>(5) その他法人の目的を達成するために必要な事業 (加入促進事業及び情報提供事業、会議等開催、研修)</p>																																																			
成 果	<p>入会事業所・会員数は前年度から減少した。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で催物等事業は中止となったが、健康維持事業を増加させ、労働福祉向上と中小企業の振興を図った。</p> <p>会員入会状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>事業所数</th> <th>会員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 1</td> <td>271事業所</td> <td>2,600人</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>262事業所</td> <td>2,564人</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>258事業所</td> <td>2,525人</td> </tr> </tbody> </table> <p>共済給付・行事参加延べ人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>生活安定事業</th> <th>健康維持事業</th> <th>老後生活安定事業</th> <th>自己啓発事業</th> <th>催物等事業</th> <th>割引事業</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 1</td> <td>611人</td> <td>1,305人</td> <td>6人</td> <td>128人</td> <td>561人</td> <td>3,102人</td> <td>6,127人</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>494人</td> <td>6,007人</td> <td>10人</td> <td>50人</td> <td>0人</td> <td>3,102人</td> <td>9,663人</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>598人</td> <td>903人</td> <td>10人</td> <td>123人</td> <td>0人</td> <td>3,489人</td> <td>5,123人</td> </tr> </tbody> </table>								事業所数	会員数	R 1	271事業所	2,600人	R 2	262事業所	2,564人	R 3	258事業所	2,525人		生活安定事業	健康維持事業	老後生活安定事業	自己啓発事業	催物等事業	割引事業	合計	R 1	611人	1,305人	6人	128人	561人	3,102人	6,127人	R 2	494人	6,007人	10人	50人	0人	3,102人	9,663人	R 3	598人	903人	10人	123人	0人	3,489人	5,123人	
	事業所数	会員数																																																		
R 1	271事業所	2,600人																																																		
R 2	262事業所	2,564人																																																		
R 3	258事業所	2,525人																																																		
	生活安定事業	健康維持事業	老後生活安定事業	自己啓発事業	催物等事業	割引事業	合計																																													
R 1	611人	1,305人	6人	128人	561人	3,102人	6,127人																																													
R 2	494人	6,007人	10人	50人	0人	3,102人	9,663人																																													
R 3	598人	903人	10人	123人	0人	3,489人	5,123人																																													
成果に係る評価	<p>会員数の減少は事業所の廃止や従業員の定年によるほか、景気の悪化や福利厚生費の削減による退会等であり、今後も同様の事由による減少が想定される。また、新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、例年人気のツアーやワインと秋の味覚を楽しむ会等の事業を中止や変更せざるを得なかったことから、今後はウィズコロナやアフターコロナを見据えた事業を展開し、会員拡大を図るとともに福利厚生事業の充実にも努める必要がある。</p>																																																			
(単位：円)																																																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																														
	15,000,000	15,000,000			2,835,000	12,165,000																																														

予算科目	5 款	労働費	総合計画	第4章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																																													
	1 項	労働福祉費		第1節	賑わいと活気にあふれる商工業の振興																																																													
	1 目	労働福祉費		(2)	就業環境の充実を図る																																																													
担当課	産業部商工課		中事業	労働者対策費																																																														
実施計画掲載ページ	P87		事業名	高齢者就業支援事業																																																														
目的及び事業内容	<p>(公社)石巻市シルバー人材センターへ補助金を交付して運営を支援することにより、地域に密着した仕事を提供し、高齢者の生きがいの充実や高齢者の社会参加の促進を図るとともに、企業の人手不足の解消、地域社会の維持・発展等を推進する。</p>																																																																	
取組実績	<p>1 シルバー人材センター運営費補助金 23,750,000円</p> <p>2 シルバー人材センター事業実績</p> <p>(1) 高齢者の福祉の増進と生きがい対策として、臨時的かつ短期的な業務のあっせん(あっせん業務：技能、事務、管理、折衝外交、一般作業、サービス)</p> <p>(2) 高齢者の就業機会確保のための一般労働者派遣事業の実施</p>																																																																	
成果	<p>下記のとおり、会員に対し就業機会を創出することにより、高齢者の生きがい対策、地域社会への貢献が図られた。</p> <p>令和3年度の受注実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>受託件数</th> <th>就業証実人員</th> <th>就業証人員</th> <th>契約金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>技能</td> <td>1,221件</td> <td>3,414人</td> <td>4,720人</td> <td>39,267,380円</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>41件</td> <td>60人</td> <td>374人</td> <td>1,337,839円</td> </tr> <tr> <td>管理</td> <td>21件</td> <td>400人</td> <td>3,459人</td> <td>16,664,475円</td> </tr> <tr> <td>折衝外交</td> <td>2件</td> <td>76人</td> <td>276人</td> <td>1,820,106円</td> </tr> <tr> <td>一般作業</td> <td>2,511件</td> <td>10,093人</td> <td>25,951人</td> <td>155,246,001円</td> </tr> <tr> <td>サービス</td> <td>101件</td> <td>101人</td> <td>168人</td> <td>136,800円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1件</td> <td>4人</td> <td>6人</td> <td>38,729円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,898件</td> <td>14,148人</td> <td>34,954人</td> <td>214,511,330円</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和3年度の派遣事業実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>契約件数</th> <th>派遣登録会員数</th> <th>就業証人数</th> <th>契約金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16件</td> <td>53人</td> <td>5,953人</td> <td>34,322,201円</td> </tr> </tbody> </table> <p>会員数の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>465人</td> <td>454人</td> <td>483人</td> </tr> </tbody> </table>					区分	受託件数	就業証実人員	就業証人員	契約金額	技能	1,221件	3,414人	4,720人	39,267,380円	事務	41件	60人	374人	1,337,839円	管理	21件	400人	3,459人	16,664,475円	折衝外交	2件	76人	276人	1,820,106円	一般作業	2,511件	10,093人	25,951人	155,246,001円	サービス	101件	101人	168人	136,800円	その他	1件	4人	6人	38,729円	計	3,898件	14,148人	34,954人	214,511,330円	契約件数	派遣登録会員数	就業証人数	契約金額	16件	53人	5,953人	34,322,201円	年度	R1	R2	R3	人数	465人	454人	483人
	区分	受託件数	就業証実人員	就業証人員	契約金額																																																													
	技能	1,221件	3,414人	4,720人	39,267,380円																																																													
事務	41件	60人	374人	1,337,839円																																																														
管理	21件	400人	3,459人	16,664,475円																																																														
折衝外交	2件	76人	276人	1,820,106円																																																														
一般作業	2,511件	10,093人	25,951人	155,246,001円																																																														
サービス	101件	101人	168人	136,800円																																																														
その他	1件	4人	6人	38,729円																																																														
計	3,898件	14,148人	34,954人	214,511,330円																																																														
契約件数	派遣登録会員数	就業証人数	契約金額																																																															
16件	53人	5,953人	34,322,201円																																																															
年度	R1	R2	R3																																																															
人数	465人	454人	483人																																																															
成果に係る評価	<p>令和2年度と比較して、会員数が29人増の483人、就業証人員が1,210人増の34,954人となり、契約金額についても増額することができている。</p> <p>しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、受注件数の大幅な増加も難しいことが予測されることから、新規の業務獲得や公共団体の受注を増加させるなどにより、更なる高齢者の社会参加の促進と地域社会の維持・発展を推進する必要がある。</p>																																																																	
予算の執行状況	(単位：円)																																																																	
予算額	23,750,000	決算額	決算額の財源内訳																																																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																												
		23,750,000				23,750,000																																																												

予算科目	5 款	労働費	総合計画	第4章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																																													
	1 項	労働福祉費		第1節	賑わいと活気にあふれる商工業の振興																																																													
	1 目	労働福祉費		(2)	就業環境の充実を図る																																																													
担当課	産業部商工課		中事業	労働者対策費																																																														
実施計画掲載ページ	P88		事業名	勤労者生活安定資金融資あっせん事業																																																														
目的及び事業内容	<p>中小企業勤労者の生活の安定を図るとともに、勤労意欲の向上及び中小企業の振興と雇用の安定に寄与するため、東北労働金庫において市が預託した金額の2倍の融資額を設定し、融資を行う。</p>																																																																	
取組実績	1 預託額 10,000,000円																																																																	
	2 勤労者向け生活安定資金の融資あっせん制度の実施																																																																	
	市内中小企業従業員に対する低利での生活資金、教育資金および自動車資金の融資																																																																	
成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>用途区分</th> <th>融資額</th> <th>貸付期間</th> <th>貸付利率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般生活資金</td> <td>100万円以内</td> <td>7年以内</td> <td>2.75%</td> </tr> <tr> <td>教育資金</td> <td>300万円以内</td> <td>10年以内 (5年以内の据置期間含む)</td> <td>1.55%</td> </tr> <tr> <td>自動車資金</td> <td>200万円以内</td> <td>7年以内</td> <td>1.55%</td> </tr> </tbody> </table>					用途区分	融資額	貸付期間	貸付利率	一般生活資金	100万円以内	7年以内	2.75%	教育資金	300万円以内	10年以内 (5年以内の据置期間含む)	1.55%	自動車資金	200万円以内	7年以内	1.55%																																													
	用途区分	融資額	貸付期間	貸付利率																																																														
	一般生活資金	100万円以内	7年以内	2.75%																																																														
教育資金	300万円以内	10年以内 (5年以内の据置期間含む)	1.55%																																																															
自動車資金	200万円以内	7年以内	1.55%																																																															
直近5年間の融資実績等は下記のとおりであり、勤労者の安定した生活確保の一助となった。																																																																		
成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">前年度末債務残高</th> <th colspan="2">融資(貸付実行)</th> <th rowspan="2">完済件数</th> <th colspan="2">償還金額</th> <th colspan="2">年度末債務残高</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>6</td> <td>4,481,523</td> <td>2</td> <td>3,600,000</td> <td>5</td> <td>3,211,067</td> <td>3</td> <td>4,870,456</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>3</td> <td>4,870,456</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>677,940</td> <td>3</td> <td>4,192,516</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>3</td> <td>4,192,516</td> <td>7</td> <td>6,842,113</td> <td>0</td> <td>1,351,785</td> <td>10</td> <td>9,682,844</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>10</td> <td>9,682,844</td> <td>3</td> <td>3,920,000</td> <td>2</td> <td>2,083,694</td> <td>11</td> <td>11,519,150</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>11</td> <td>11,519,150</td> <td>1</td> <td>1,500,000</td> <td>2</td> <td>3,020,723</td> <td>10</td> <td>9,998,427</td> </tr> </tbody> </table>					年度	前年度末債務残高		融資(貸付実行)		完済件数	償還金額		年度末債務残高		件数	金額	件数	金額	件数	金額	H29	6	4,481,523	2	3,600,000	5	3,211,067	3	4,870,456	H30	3	4,870,456	0	0	0	677,940	3	4,192,516	R1	3	4,192,516	7	6,842,113	0	1,351,785	10	9,682,844	R2	10	9,682,844	3	3,920,000	2	2,083,694	11	11,519,150	R3	11	11,519,150	1	1,500,000	2	3,020,723	10	9,998,427
	年度	前年度末債務残高		融資(貸付実行)			完済件数	償還金額		年度末債務残高																																																								
		件数	金額	件数	金額	件数		金額																																																										
H29	6	4,481,523	2	3,600,000	5	3,211,067	3	4,870,456																																																										
H30	3	4,870,456	0	0	0	677,940	3	4,192,516																																																										
R1	3	4,192,516	7	6,842,113	0	1,351,785	10	9,682,844																																																										
R2	10	9,682,844	3	3,920,000	2	2,083,694	11	11,519,150																																																										
R3	11	11,519,150	1	1,500,000	2	3,020,723	10	9,998,427																																																										
成果に係る評価	<p>令和3年度の新規貸付は1件のみであったが、勤労者の生活安定を支える重要な役割を担う制度と考えられ、引き続き、利用促進のため制度周知に取り組んでいく。</p>																																																																	
予算の執行状況	(単位：円)																																																																	
予算額	10,000,000	決算額	決算額の財源内訳																																																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																												
		10,000,000				10,000,000																																																												

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第4章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																						
	1 項	農業費		第3節	魅力的な農林畜産業の振興																						
	3 目	農業振興費		(7)	農作物の被害対策を推進する																						
担当課	産業部ニホンジカ対策室		中 事業	ニホンジカ農作物被害防止対策費																							
実施計画掲載ページ	P103		事業名	有害鳥獣農作物被害防止対策事業																							
目的及び事業内容	<p>有害鳥獣による農作物等の被害が深刻化しており、ニホンジカの生息域が半島部のみならず内陸部の住宅街や民家の庭先まで拡大し、農林業被害だけでなく生活圏内での住民との軋轢が生じてきているほか、交通事故も発生している。</p> <p>そのため、有害鳥獣による被害抑制を目的に、有害捕獲を柱とした捕獲強化による被害防止対策を講じるとともに、地域ぐるみの侵入防止柵の設置を推進し、鳥獣が侵入しにくい環境整備を図り、人の生活領域と野生鳥獣の生息域の区分を実施する。</p>																										
取組実績	<p>牡鹿半島ニホンジカ対策協議会へ補助金を交付し鳥獣被害防止総合支援事業を実施するとともに、宮城県猟友会石巻支部及び河北支部に業務委託し、ニホンジカの有害捕獲を実施した。</p> <p>1 鳥獣被害防止総合支援事業</p> <p>(1) 推進事業</p> <p>ア ニホンジカの被害状況調査、捕獲サポート活動に係る見回り、緩衝帯の整備活動</p> <p>イ 狩猟免許試験受験料及び受験者用講習会受講料助成</p> <p>ウ 捕獲資機材等購入</p> <p>エ ニホンジカ生息数・動態調査</p> <p>オ 地域連携活動・研修会の開催</p> <p>(2) 整備事業</p> <p>侵入防止柵7,000m設置（稲井地区、大川地区）</p> <p>2 ニホンジカ有害捕獲実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">活動指標</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>1,250頭</td> <td>2,968頭</td> <td>237%</td> </tr> </tbody> </table>					区分	活動指標		達成率等	目標値	実績値	R3	1,250頭	2,968頭	237%												
	区分	活動指標		達成率等																							
目標値		実績値																									
R3	1,250頭	2,968頭	237%																								
成果	<p>ニホンジカの有害捕獲頭数は目標を上回る実績となっているが、推定生息頭数の減少が微小であり、目標値を大幅に下回る結果となっている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">ニホンジカ推定生息頭数</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td></td> <td>12,915頭</td> <td>21%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>2,665頭</td> <td>11,792頭</td> <td>23%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td></td> <td>10,632頭</td> <td>25%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※成果指標目標値は、第三期宮城県ニホンジカ管理計画で定める目標生息密度10頭/km²に石巻女川区域の森林面積を乗じた数値である。</p> <p>※成果指標実績値は、宮城県ニホンジカ・イノシシ生息状況等調査業務の石巻女川区域の数値であり、令和3年度推定生息頭数は令和4年度同調査時に確定する。</p>					ニホンジカ推定生息頭数				区分	成果指標		達成率等	目標値	実績値	H30		12,915頭	21%	R1	2,665頭	11,792頭	23%	R2		10,632頭	25%
ニホンジカ推定生息頭数																											
区分	成果指標		達成率等																								
	目標値	実績値																									
H30		12,915頭	21%																								
R1	2,665頭	11,792頭	23%																								
R2		10,632頭	25%																								
成果に係る評価	<p>ニホンジカによる農作物等被害が増加している状況にあるが、ニホンジカ推定生息頭数が減少傾向で推移していることから、引き続き捕獲を強化し、個体数のさらなる減少を目指すとともに、獣害対策の3本柱である「有害鳥獣捕獲」「侵入防止柵の設置」「周辺環境の改善」に努めることにより農作物等被害の軽減を図る必要がある。</p>																										
予算の執行状況	(単位：円)																										
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																					
	65,792,808	65,792,808	12,222,553		8,000,000	45,570,255																					

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第4章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																																												
	1 項	農業費		第3節	魅力的な農林畜産業の振興																																																												
	3 目	農業振興費		(2)	持続可能な農業生産体制を整備する																																																												
担当課	産業部農林課		中 事業	農業振興費																																																													
実施計画掲載ページ	P99		事業名	みやぎの水田農業改革支援事業																																																													
目的及び事業内容	<p>米の需給調整に係る集団転作に取り組み農業法人や集落営農組織等を対象とし、作業の効率化及び適期作業による品質向上を図るための作業機械導入経費の軽減を目的に、宮城県と本市が補助金を交付するもの。</p>																																																																
取組実績	<p>転作用機械を導入する補助対象事業者(11組織)に対し、県補助金(4/10)に市が5%嵩上げた補助金を交付し、作業機械導入経費の負担軽減を図った。</p> <p>1 事業実施主体数 : 11組織</p> <p>2 導入施設及び機械</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>事業実施主体名</th> <th>作付品目</th> <th>地区</th> <th>導入機械</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>(農) ドリーム真野</td> <td>麦・大豆</td> <td>石巻</td> <td>汎用コンバイン</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>(農) アスターファーム</td> <td>水稲・麦・大豆</td> <td>石巻</td> <td>汎用コンバイン</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>(農) 真大ファーム</td> <td>水稲・麦・大豆</td> <td>石巻</td> <td>汎用コンバイン</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>(株) クリーンライス</td> <td>麦・大豆・水稲</td> <td>河北</td> <td>汎用コンバイン</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>(農) ビッグベリ－ランドパートナーシップ</td> <td>水稲・麦・大豆</td> <td>河北</td> <td>ドローン一式</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>(株) ヒロふあーむ</td> <td>水稲・麦・大豆</td> <td>河南</td> <td>ドローン一式</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>北村営農組合</td> <td>水稲・大豆</td> <td>河南</td> <td>乗用管理機</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>(株) 入沢ファーム</td> <td>水稲・麦・大豆</td> <td>桃生</td> <td>ハイクリブーム</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>(有) 高須賀農産</td> <td>水稲・麦・大豆</td> <td>桃生</td> <td>ハイクリブーム</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>(有) アグリサービス高勝</td> <td>水稲・麦・大豆</td> <td>桃生</td> <td>汎用コンバイン</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>(株) ゆいっこ</td> <td>水稲・大豆</td> <td>北上</td> <td>ハイクリブーム</td> </tr> </tbody> </table>						事業実施主体名	作付品目	地区	導入機械	1	(農) ドリーム真野	麦・大豆	石巻	汎用コンバイン	2	(農) アスターファーム	水稲・麦・大豆	石巻	汎用コンバイン	3	(農) 真大ファーム	水稲・麦・大豆	石巻	汎用コンバイン	4	(株) クリーンライス	麦・大豆・水稲	河北	汎用コンバイン	5	(農) ビッグベリ－ランドパートナーシップ	水稲・麦・大豆	河北	ドローン一式	6	(株) ヒロふあーむ	水稲・麦・大豆	河南	ドローン一式	7	北村営農組合	水稲・大豆	河南	乗用管理機	8	(株) 入沢ファーム	水稲・麦・大豆	桃生	ハイクリブーム	9	(有) 高須賀農産	水稲・麦・大豆	桃生	ハイクリブーム	10	(有) アグリサービス高勝	水稲・麦・大豆	桃生	汎用コンバイン	11	(株) ゆいっこ	水稲・大豆	北上	ハイクリブーム
		事業実施主体名	作付品目	地区	導入機械																																																												
1	(農) ドリーム真野	麦・大豆	石巻	汎用コンバイン																																																													
2	(農) アスターファーム	水稲・麦・大豆	石巻	汎用コンバイン																																																													
3	(農) 真大ファーム	水稲・麦・大豆	石巻	汎用コンバイン																																																													
4	(株) クリーンライス	麦・大豆・水稲	河北	汎用コンバイン																																																													
5	(農) ビッグベリ－ランドパートナーシップ	水稲・麦・大豆	河北	ドローン一式																																																													
6	(株) ヒロふあーむ	水稲・麦・大豆	河南	ドローン一式																																																													
7	北村営農組合	水稲・大豆	河南	乗用管理機																																																													
8	(株) 入沢ファーム	水稲・麦・大豆	桃生	ハイクリブーム																																																													
9	(有) 高須賀農産	水稲・麦・大豆	桃生	ハイクリブーム																																																													
10	(有) アグリサービス高勝	水稲・麦・大豆	桃生	汎用コンバイン																																																													
11	(株) ゆいっこ	水稲・大豆	北上	ハイクリブーム																																																													
成果	<p>11組織において、転作用機械を導入し、麦・大豆等の栽培における生産規模の拡大が図られた。</p>																																																																
成果に係る評価	<p>本市では、農産物の安定的な生産供給を推進するため、主に基盤整備終了後の水田における転作態様として、ブロックローテーション等による、水稲、麦類、大豆等の土地利用型作物の作付けを促進し、水田の高度利用を推進しながら自給率の向上を目指すとともに、調整水田等の取組から集団転作等への段階的な移行を図り、不作付地の解消に努めている</p> <p>本事業を活用することにより、転作団体の安定的な農業経営・生産性の向上に寄与するため、事業を継続していくが必要である</p>																																																																
予算の執行状況	(単位：円)																																																																
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																											
	40,748,000	40,748,000	36,224,000			4,524,000																																																											

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	
	1 項	農業費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興	
	3 目	農業振興費		(2)	持続可能な農業生産体制を整備する	
担当課	産業部農林課		中 事 業	農業振興費		
実施計画掲載ページ	P 98		事 業 名	園芸特産重点強化整備事業		
目的及び事業内容	園芸生産用施設・機械の導入等により、園芸特産物の安定的な供給を支える担い手の育成・確保を図りながら、組織化による集落農業の実践を進め、高品質で収益性の高い作物の計画的な生産出荷を可能とする産地を育成することを目的とする。					
取組実績	園芸作物栽培に係る施設・機械を導入する補助対象事業者（1組織）に対し、県補助金（1/3）に市が5%嵩上げた補助金を交付し、施設・機械等の整備費の負担軽減を図った。					
	1 事業実施主体数 : 1組織					
	2 導入施設及び機械					
	事業実施主体名	作付品目	地区	導入機械		
	1 桃生町園芸生産者連絡協議会	小ネギ	桃生	自走式動力噴霧器		
成 果	導入機械により、省力化や秀品率が向上し、作付品目の市場価値を高めることができた。					
成果に係る評価	機械導入や施設整備が産地としての生産力の向上及び省力化に結びつき、収益性の高い経営が図られることから、継続して事業を推進していく必要がある。					
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	621,000	548,000	477,000			71,000

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	
	1 項	農業費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興	
	3 目	農業振興費		(2)	持続可能な農業生産体制を整備する	
担当課	産業部農林課		中 事 業	農業振興費		
実施計画掲載ページ	P 99		事 業 名	担い手育成総合支援事業（農業）		
目的及び事業内容	本市の第一次産業においては、後継者不足等の理由により就業者の減少が続いている。新たな担い手を確保するために、支援拠点となる施設整備等や管理運営を実施する。					
取組実績	新・農業人フェア等のマッチングイベントに2回参加し本市農業のPR活動や、オンラインとオフラインによる定期的な就農相談会を開催した。					
	ホームページやSNS等で募集を行い、農業担い手センターを活用した本市農業の座学によるプログラムを開催した。 また、地域体験型農業研修プログラムを2回開催し9人参加した。 桃生シェアハウスを活用し、本市で就農している若手農業者や、就農希望者等による交流会を実施した。 ホームページの更新やパンフレットの増刷を行った。 その他YouTube配信によるオンラインイベントを3回開催した。					
成 果	市内の法人等に就農（就農研修含む）した8名のうち、市外からの就農者は3名である。市外からの就農者のうち、2名が桃生地区・北上地区のシェアハウスにそれぞれ入居した。高齢農家の引退による第三者継承の動きが増えてきており、移住+独立就農を目指す新規就農者への支援活動を開始した。現在1組が第三者継承に向け研修等を行っている。新規就農者数・就農相談者数ともに昨年度から増加した。					
成果に係る評価	農業担い手センターを中心とした、担い手事業が定着化し、就農相談や農業イベントへの参加者も増加傾向にあり、また、就農者も増加している。 移住を伴う新規就農者には、地方自治体が担い手事業を行うことにより、安心した移住・就農につながることから、今後も担い手事業を継続し、地域課題である担い手の確保に努める。 また、新規就農者の孤立・孤独を防ぐために、若手農業者と就農希望者・新規就農者の交流を充実させる取組を推進し、引き続き新規就農者の不安解消を図る。					
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	15,000,000	14,929,860			14,900,000	29,860

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																													
	1 項	農業費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興																													
	4 目	畜産費		(5)	安全で高品質な農畜産物の安定供給体制を構築する																													
担当課	産業部農林課		中 事 業	堆肥センター費																														
実施計画掲載ページ	P100		事 業 名	有機センター施設整備事業																														
目的及び事業内容	石巻市内4カ所の堆肥センターにおける畜産廃棄物を適正に処理し、良質堆肥を生産するための設備、機械を整備・更新することにより、畜産農業・耕種農業、実需者及び消費者の連携した資源循環型農業の推進を図る。																																	
取組実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>機械・設備名</th> <th>金額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">大谷地堆肥センター</td> <td>格納庫シャッター修繕</td> <td>605,000</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>605,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">かなん有機センター</td> <td>攪拌機チェーン張調整</td> <td>220,000</td> </tr> <tr> <td>攪拌機ガイドレール修繕</td> <td>311,300</td> </tr> <tr> <td>攪拌機攪拌駆動チェーン交換</td> <td>267,300</td> </tr> <tr> <td>攪拌機走行駆動用スプロケット交換</td> <td>174,900</td> </tr> <tr> <td>攪拌機横行用スプロケット交換</td> <td>492,800</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>1,466,300</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">桃生堆肥化処理センター</td> <td>攪拌機中央レール交換</td> <td>1,205,270</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>1,205,270</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>3,276,570</td> </tr> </tbody> </table>					施設名	機械・設備名	金額(円)	大谷地堆肥センター	格納庫シャッター修繕	605,000	小計	605,000	かなん有機センター	攪拌機チェーン張調整	220,000	攪拌機ガイドレール修繕	311,300	攪拌機攪拌駆動チェーン交換	267,300	攪拌機走行駆動用スプロケット交換	174,900	攪拌機横行用スプロケット交換	492,800	小計	1,466,300	桃生堆肥化処理センター	攪拌機中央レール交換	1,205,270	小計	1,205,270	合計		3,276,570
	施設名	機械・設備名	金額(円)																															
大谷地堆肥センター	格納庫シャッター修繕	605,000																																
	小計	605,000																																
かなん有機センター	攪拌機チェーン張調整	220,000																																
	攪拌機ガイドレール修繕	311,300																																
	攪拌機攪拌駆動チェーン交換	267,300																																
	攪拌機走行駆動用スプロケット交換	174,900																																
	攪拌機横行用スプロケット交換	492,800																																
小計	1,466,300																																	
桃生堆肥化処理センター	攪拌機中央レール交換	1,205,270																																
	小計	1,205,270																																
合計		3,276,570																																
成 果	経年劣化により破損や故障した設備や機械(攪拌機)の修繕により、施設の適正な管理運営が行え、畜産廃棄物の処理及び生産性の向上、畜産農業と耕種農業との耕畜連携を促しながら製品出荷体制の強化体制が図られた。																																	
成果に係る評価	老朽化した設備、機械の修繕により、各有機センター施設の安定的な運営が図られた。また、環境問題や肥料高騰の情勢から需要の高まっている有機センターを今後も有効的・効率的に活用するために、引き続き施設や機械の修繕・更新を進め、資源循環型農業の推進を図る。																																	
予算の執行状況	(単位:円)																																	
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																												
	3,416,325	3,276,570				3,276,570																												

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																																																																																		
	1 項	農業費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興																																																																																																		
	5 目	農地費		(1)	豊かな農村環境の再生と農業基盤整備を推進する																																																																																																		
担当課	産業部農林課		中 事 業	土地改良事業関係助成費																																																																																																			
実施計画掲載ページ	P104		事 業 名	多面的機能支払交付金事業																																																																																																			
目的及び事業内容	農業・農村の有する多面的機能(国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成等)の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を行う。 対象区域(管内一円) 7,478ha 交付先: 蛇田保全隊 ほか17活動組織 事業期間 令和元年度～令和5年度																																																																																																						
取組実績	以下の活動組織において、次の活動を行った。 1 農地維持活動(水路の草刈、泥上げ、農道の路面維持等) 2 資源向上活動(水路、農道等の軽微な補修、草花の植栽等)																																																																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">組織名</th> <th colspan="2">R3</th> <th colspan="2">R2</th> <th rowspan="2">R3 対象農地面積</th> <th rowspan="2">組織名</th> <th colspan="2">R3</th> <th colspan="2">R2</th> <th rowspan="2">R3 対象農地面積</th> </tr> <tr> <th>参加人数</th> <th>参加人数</th> <th>参加人数</th> <th>参加人数</th> <th>参加人数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蛇田</td> <td>769人</td> <td>828人</td> <td>17,797 a</td> <td>広洲</td> <td>2,322人</td> <td>2,627人</td> <td>66,305 a</td> </tr> <tr> <td>稲井</td> <td>886人</td> <td>874人</td> <td>62,981 a</td> <td>須江</td> <td>2,338人</td> <td>2,585人</td> <td>39,409 a</td> </tr> <tr> <td>小船越</td> <td>2,621人</td> <td>2,590人</td> <td>53,806 a</td> <td>北村</td> <td>2,143人</td> <td>2,212人</td> <td>31,848 a</td> </tr> <tr> <td>飯野・成田</td> <td>1,291人</td> <td>1,301人</td> <td>35,232 a</td> <td>中津山1</td> <td>3,945人</td> <td>3,301人</td> <td>57,306 a</td> </tr> <tr> <td>二俣</td> <td>1,823人</td> <td>1,638人</td> <td>36,707 a</td> <td>中津山2</td> <td>1,954人</td> <td>1,983人</td> <td>30,073 a</td> </tr> <tr> <td>飯野川</td> <td>1,673人</td> <td>1,092人</td> <td>25,670 a</td> <td>桃生1</td> <td>1,245人</td> <td>1,260人</td> <td>31,536 a</td> </tr> <tr> <td>北上</td> <td>761人</td> <td>703人</td> <td>24,803 a</td> <td>太田</td> <td>1,470人</td> <td>1,486人</td> <td>30,803 a</td> </tr> <tr> <td>前谷地</td> <td>2,873人</td> <td>3,069人</td> <td>48,805 a</td> <td>大川</td> <td>546人</td> <td>319人</td> <td>30,000 a</td> </tr> <tr> <td>和洲</td> <td>2,505人</td> <td>2,744人</td> <td>49,021 a</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鹿又</td> <td>3,105人</td> <td>3,403人</td> <td>75,656 a</td> <td>合 計</td> <td>34,270人</td> <td>34,015人</td> <td>747,758 a</td> </tr> </tbody> </table>						組織名	R3		R2		R3 対象農地面積	組織名	R3		R2		R3 対象農地面積	参加人数	参加人数	参加人数	参加人数	参加人数	参加人数	蛇田	769人	828人	17,797 a	広洲	2,322人	2,627人	66,305 a	稲井	886人	874人	62,981 a	須江	2,338人	2,585人	39,409 a	小船越	2,621人	2,590人	53,806 a	北村	2,143人	2,212人	31,848 a	飯野・成田	1,291人	1,301人	35,232 a	中津山1	3,945人	3,301人	57,306 a	二俣	1,823人	1,638人	36,707 a	中津山2	1,954人	1,983人	30,073 a	飯野川	1,673人	1,092人	25,670 a	桃生1	1,245人	1,260人	31,536 a	北上	761人	703人	24,803 a	太田	1,470人	1,486人	30,803 a	前谷地	2,873人	3,069人	48,805 a	大川	546人	319人	30,000 a	和洲	2,505人	2,744人	49,021 a					鹿又	3,105人	3,403人	75,656 a	合 計	34,270人	34,015人
組織名	R3		R2		R3 対象農地面積	組織名		R3		R2				R3 対象農地面積																																																																																									
	参加人数	参加人数	参加人数	参加人数			参加人数	参加人数																																																																																															
蛇田	769人	828人	17,797 a	広洲	2,322人	2,627人	66,305 a																																																																																																
稲井	886人	874人	62,981 a	須江	2,338人	2,585人	39,409 a																																																																																																
小船越	2,621人	2,590人	53,806 a	北村	2,143人	2,212人	31,848 a																																																																																																
飯野・成田	1,291人	1,301人	35,232 a	中津山1	3,945人	3,301人	57,306 a																																																																																																
二俣	1,823人	1,638人	36,707 a	中津山2	1,954人	1,983人	30,073 a																																																																																																
飯野川	1,673人	1,092人	25,670 a	桃生1	1,245人	1,260人	31,536 a																																																																																																
北上	761人	703人	24,803 a	太田	1,470人	1,486人	30,803 a																																																																																																
前谷地	2,873人	3,069人	48,805 a	大川	546人	319人	30,000 a																																																																																																
和洲	2,505人	2,744人	49,021 a																																																																																																				
鹿又	3,105人	3,403人	75,656 a	合 計	34,270人	34,015人	747,758 a																																																																																																
成 果	農用地、水路、農道等の地域資源の質的向上を図る共同活動として、農家・非農家を問わず地域ぐるみで創意工夫に基づいた保全会活動を促進・発展させることにより、農業農村が持つ多面的機能の増進が適切に維持・発揮された。一方で今後、地域資源の維持管理を担う地域の人材不足や高齢化、担い手への負担の増加により農村環境の保全管理が困難となることが懸念される。																																																																																																						
成果に係る評価	今般、過疎化や構成員の高齢化、非農業者の増加により作業への参加者が減少傾向となり、草刈り作業等の保全管理への負担が増加している。今後いかにして地域資源を守っていくかが課題となっており、引き継いできた農地等を後世に繋いでいくためには地域住民全員が活動に参加できるようなネットワークの構築が必要であり、少人数でも効率的に保全活動が行えるよう、維持管理の省力化や低コスト化を図っていくことも重要である。 新型コロナウイルス感染症対策のためやむなく「生き物調査」等の啓発活動を計画中止した組織もあったが、地域環境の素晴らしさを発見する啓発活動を引き続き行っていくことが大切である。 身近な地域資源を適切に保全管理し良好に守っていくためには、本交付金事業を活用することにより、各構成団体との連携や後継者、担い手の育成等、地域全体での活動を継続していくことが重要である。																																																																																																						
予算の執行状況	(単位:円)																																																																																																						
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																	
	200,705,000	200,704,830	150,528,616			50,176,214																																																																																																	

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち												
	2 項	林業費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興												
	2 目	林業振興費		(3)	豊かで身近な森林を再生する												
担当課	産業部農林課		中 事 業	松くい虫対策事業費													
実施計画掲載ページ	P102		事 業 名	松くい虫対策事業													
目的及び事業内容	松くい虫からの被害拡大を防止し、景観の保全と森林資源の確保を図るため、被害木の伐倒駆除や薬剤の樹幹注入・空中散布による予防を実施する。																
取組実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事 業 名</th> <th>事 業 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>松くい虫伐倒駆除事業 河北、雄勝、桃生地区</td> <td>214 本 133,783 m³</td> </tr> <tr> <td>樹幹注入剤による松林保全対策事業 石巻、牡鹿地区</td> <td>395 本</td> </tr> <tr> <td>松くい虫防除事業（空中散布）</td> <td>181.56 h a</td> </tr> <tr> <td>森林育成事業衛生伐（内地・離島）伐倒駆除</td> <td>3,881 本 2,203,144 m³</td> </tr> </tbody> </table>					事 業 名	事 業 量	松くい虫伐倒駆除事業 河北、雄勝、桃生地区	214 本 133,783 m ³	樹幹注入剤による松林保全対策事業 石巻、牡鹿地区	395 本	松くい虫防除事業（空中散布）	181.56 h a	森林育成事業衛生伐（内地・離島）伐倒駆除	3,881 本 2,203,144 m ³		
事 業 名	事 業 量																
松くい虫伐倒駆除事業 河北、雄勝、桃生地区	214 本 133,783 m ³																
樹幹注入剤による松林保全対策事業 石巻、牡鹿地区	395 本																
松くい虫防除事業（空中散布）	181.56 h a																
森林育成事業衛生伐（内地・離島）伐倒駆除	3,881 本 2,203,144 m ³																
成 果	<p>貴重な景観の保全、森林・環境資源として、松林の保護並びに山林の荒廃を防止した。</p> <p>松くい虫被害木の駆除量の推移（駆除本数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>業務実施量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>3,500本</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>4,108本</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>2,274本</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>3,909本</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>4,095本</td> </tr> </tbody> </table>					年度	業務実施量	H29	3,500本	H30	4,108本	R1	2,274本	R2	3,909本	R3	4,095本
年度	業務実施量																
H29	3,500本																
H30	4,108本																
R1	2,274本																
R2	3,909本																
R3	4,095本																
成果に係る評価	被害木調査により発見した当年度枯れを適切に処理し、被害の拡大を抑えることで、森林の多面的機能維持及び森林資源の保護に努めた。																
予算の執行状況	(単位：円)																
	予算額	決算額	決算額の財源内訳														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源											
	62,383,000	60,719,394	40,018,748			20,700,646											

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち				
	2 項	林業費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興				
	6 目	森林環境整備費		(3)	豊かで身近な森林を再生する				
担当課	産業部農林課		中 事 業	森林環境整備事業費					
実施計画掲載ページ	P102		事 業 名	森林環境整備事業					
目的及び事業内容	パリ協定の枠組みの下における日本の温室効果ガス排出削減目標の達成や森林の災害防止等を図るため、森林整備等に必要施策を行う。								
取組実績	<p>災害リスクが高い山地災害危険地区Aの森林や防災集団移転住宅団地周辺森林において、過去に森林整備を実施していない民有林の所有者に対し、市への森林経営管理委託の意向調査を88.62 h aの森林で実施した。</p> <p>令和3年度の取組</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>取 組 内 容</th> <th>事 業 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森林経営意向調査（山地災害危険地区A）</td> <td>88.62 h a</td> </tr> </tbody> </table>					取 組 内 容	事 業 量	森林経営意向調査（山地災害危険地区A）	88.62 h a
取 組 内 容	事 業 量								
森林経営意向調査（山地災害危険地区A）	88.62 h a								
成 果	令和3年度に森林経営意向調査88.62 h aを実施した結果、63.33 h aの森林所有者から市へ森林経営管理を委託したい旨の回答があり、当該委託希望森林を対象に市が森林経営管理を受託できるか判断するための集積計画に着手し、令和4年度に計画する私有林の間伐に向けて、事前準備となる意向調査を実施した。								
成果に係る評価	令和2年度より着手した本事業において、当時は、意向調査、集積計画及び間伐を単年度で実施する計画としていたが、実際に着手した結果、それぞれの業務に想定した以上の期間を要しており、意向調査後の集積計画及び間伐業務については、令和3年度内に完了することができず、令和4年度に繰越を行った。 (繰越額28,600,000円)								
予算の執行状況	(単位：円)								
	予算額	決算額	決算額の財源内訳						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源			
	41,640,000	11,732,600			11,732,600				

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																														
	3 項	水産業費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興																														
	2 目	水産業振興費		(2)	操業体制の充実を図る																														
担当課	産業部水産課		中 事 業	水産振興事業費																															
実施計画掲載ページ	P 95		事 業 名	担い手育成総合支援事業（水産業）																															
目的及び事業内容	<p>本市の基幹産業である水産業は後継者不足等の理由により漁業就業者数の減少が続いていることから、移住者や若者を積極的に受け入れ、新たな担い手を確保するために、空き家等の未利用の建物を活用し、短・中期的に生活できるシェアハウス機能を持った「石巻市水産業担い手センター」を整備し、担い手育成のための事業運営を行う。令和3年度からは水産業一体的に取り組むこととし、水産加工業者の人材確保、幹部候補の育成に向けた事業も実施し、将来の石巻の漁業・水産加工業の担い手としての人材確保・育成を目的としている。また、漁業協同組合等が行う担い手対策に係る経費の一部を補助し、新規就業者の確保・育成を支援する。</p>																																		
取組実績	<p>1 水産業担い手センター運営事業</p> <p>本事業は、新規就業者が気軽に漁業就業ができる環境を整えるため、漁業就業や漁業研修の住まい、拠点の場としての「水産業担い手センター」の整備・運営と、漁業研修の実施、求人活動、求人求職者間のマッチングを行う事業である。本事業は、地域や漁業者の理解が必要なことから、漁業協同組合との共同事業として実施しており、民間事業者へ事業を委託している。</p> <p>(1) 担い手センターの運営</p> <p>整備した担い手センター5か所（牡鹿地区、泉町地区、北上地区、渡波地区、雄勝地区）を運営。</p> <p>他県から移住し、漁業に従事する新規就業者の研修期間中～定住先が決定するまでの住まいとして運営している。</p> <p>(2) 短期研修の実施</p> <p>①新型コロナウイルス感染症の防止のため、例年行っている漁師学校（県内外から募集）は実施せず、感染防止措置後、各自が希望する漁業種の漁業者の基で短期研修（就労体験）を実施。</p> <p>②雇用者側の研修として、就業環境整備を目的に社会保険労務士による講習会を実施。</p> <p>(3) 求人活動の実施</p> <p>オンラインによる就業フェアに参加。みやぎ漁業就業支援オンラインフェア（視聴者数19名）、漁業就業支援フェア 東京（面談者7名）。</p> <p>2 担い手育成総合支援事業</p> <p>担い手育成総合支援事業については、漁業協同組合などによる漁業就業支援フェアへの参加費用や新規就業者による漁業活動に必要なフォークリフト等の資格取得に要する費用を補助し、新規就業者確保活動を支援した。</p>																																		
成 果	<p>令和3年度はWE Bサイトや求人広告などから100件程度問い合わせがあり、短期研修23名、就労支援13名（内漁業5名、加工8名）のサポートを行った。令和3年度末の就業者数は48名。うち正組員1名、准組員が2名。令和3年度の担い手センター利用者27名（短期利用者19名、入居者8名）</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <caption>1 担い手センター運営事業</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>就業者人数</th> <th>離職者</th> <th>年度末就業者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27～H30</td> <td>25人</td> <td>7人</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>5人</td> <td>3人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>5人</td> <td>4人</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>13人</td> <td>3人</td> <td>31人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <caption>2 担い手育成総合支援事業</caption> <tbody> <tr> <td>R3補助金交付件数</td> <td>0件</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>資格取得支援</td> <td>7件</td> <td>366,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7件</td> <td>366,000円</td> </tr> </tbody> </table>						区分	就業者人数	離職者	年度末就業者	H27～H30	25人	7人	18人	R1	5人	3人	20人	R2	5人	4人	21人	R3	13人	3人	31人	R3補助金交付件数	0件	0円	資格取得支援	7件	366,000円	計	7件	366,000円
区分	就業者人数	離職者	年度末就業者																																
H27～H30	25人	7人	18人																																
R1	5人	3人	20人																																
R2	5人	4人	21人																																
R3	13人	3人	31人																																
R3補助金交付件数	0件	0円																																	
資格取得支援	7件	366,000円																																	
計	7件	366,000円																																	
成果に係る評価	<p>全国的に漁業就業者数は減少の一途をたどっており、水産業を選択する若者が少ないことから、新規就業者の獲得には地道な活動が必要である。</p> <p>令和3年度からは、水産関連会社の担い手育成にも対象を広げ、事業を拡大しており、水産業界一体となって取り組むこととしている。</p> <p>現在、本市の事業は全国的に認知されており、漁業・加工業を志す若者からの問合せも増えており、令和3年度は13名が就業。事業が始まって通算48名が就業し、着実に新規の漁業者を確保している。</p> <p>これは、本事業が、単に就労のマッチングに留まらず、着業後のフォローを実施していることも大きな要因であり、持続可能な水産業を実現するために重要な事業と評価される。</p>																																		
予算の執行状況	(単位：円)																																		
予算額	28,600,000	決算額	決算額の財源内訳																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																													
		27,965,999			24,366,000	3,599,999																													

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																					
	3 項	水産業費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興																					
	2 目	水産業振興費		(1)	漁場環境の保全を推進する																					
担当課	産業部水産課		中 事 業	水産振興事業費																						
実施計画掲載ページ	P 95		事 業 名	水産多面的機能発揮対策事業																						
目的及び事業内容	<p>多くの水生生物の生活を支え、産卵や幼稚仔魚に生育の場を提供する“藻場”が減少する「磯焼け」が本市の沿岸においても発生している。そのため、水産資源の維持培養と環境保全を図る磯焼け対策事業を実施する漁業協同組合が主体の活動組織に対し、宮城県水域保全協議会を通して負担金を交付する。</p> <p>【事業内容】</p> <p>藻場の保全、干潟の保全、種苗放流、漂着物堆積物処理、生態系の維持保全、等を実施する市内の活動組織の取り組みに応じて、宮城県水域保全協議会に負担金を支出する。</p>																									
取組実績	<p>1 令和3年度事業実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動組織</th> <th>実施内容</th> <th>実施場所</th> <th>実施規模</th> <th>負担金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ISO P (宮城県漁協石巻地区支所)</td> <td>ウニの除去による藻場の保全</td> <td>佐須浜 田代島周辺</td> <td>12ha</td> <td>802,060円</td> </tr> <tr> <td>継承 奥の海 万石浦 (宮城県漁協石巻支所)</td> <td>藻場の保全（アカモク） 干潟の保全（アサリ漁場の保全）</td> <td>万石浦</td> <td>13ha</td> <td>1,025,504円</td> </tr> <tr> <td>網地島振興協議会 磯焼け対策部会 (宮城県漁協網地島支所)</td> <td>ウニの除去による藻場の保全</td> <td>網地浜 長渡浜</td> <td>10ha</td> <td>720,000円</td> </tr> </tbody> </table>						活動組織	実施内容	実施場所	実施規模	負担金額	ISO P (宮城県漁協石巻地区支所)	ウニの除去による藻場の保全	佐須浜 田代島周辺	12ha	802,060円	継承 奥の海 万石浦 (宮城県漁協石巻支所)	藻場の保全（アカモク） 干潟の保全（アサリ漁場の保全）	万石浦	13ha	1,025,504円	網地島振興協議会 磯焼け対策部会 (宮城県漁協網地島支所)	ウニの除去による藻場の保全	網地浜 長渡浜	10ha	720,000円
活動組織	実施内容	実施場所	実施規模	負担金額																						
ISO P (宮城県漁協石巻地区支所)	ウニの除去による藻場の保全	佐須浜 田代島周辺	12ha	802,060円																						
継承 奥の海 万石浦 (宮城県漁協石巻支所)	藻場の保全（アカモク） 干潟の保全（アサリ漁場の保全）	万石浦	13ha	1,025,504円																						
網地島振興協議会 磯焼け対策部会 (宮城県漁協網地島支所)	ウニの除去による藻場の保全	網地浜 長渡浜	10ha	720,000円																						
成 果	<p>実施初年度となった令和2年度に、3つの活動組織が発足し、令和3年度は引き続き網地島を含む市内沿岸の計35haにおいて藻場の保全や干潟の保全に取り組んだ。磯焼けの原因と考えられるウニについては、およそ27トン駆除し、サキゴロタマツメタガイや、アカエイからのアサリの食害を防ぐ活動に対して、宮城県水域保全協議会を通して2,547,564円の負担金を支出した。</p>																									
成果に係る評価	<p>昨今の海洋環境の変化において「磯焼け」は、短期的に解決できる問題ではなく継続的に事業を実施していく必要があり、令和3年度も継続して活動を行うことができた。藻場の面積が増加に転じているモニタリングポイントがあり、効果が見え始めていることが分かっているため、今後も活動を継続していく。</p>																									
予算の執行状況	(単位：円)																									
予算額	3,700,000	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
		2,547,564				2,547,564																				

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	
	3 項	水産業費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興	
	2 目	水産業振興費		(1)	漁場環境の保全を推進する	
担当課	産業部水産課		中 事 業	水産振興事業費		
実施計画掲載ページ	P 95		事 業 名	海岸漂着物等地域対策推進事業		
目的及び事業内容	<p>昨今の海岸・沖合には、海洋プラスチックごみを含む多くのごみが漂流・漂着しているため、ごみの削減、減量化に向け漁業者等が取り組む清掃活動等に要する費用の負担を国の支援を受け、市が実施することで、漁港及び海洋環境の保全を図ることを目的とするもの。</p> <p>【事業内容】 市内各漁港に漂着した海洋ごみや、海岸・沖合に漂流している海洋ごみの回収・処理を漁業協同組合等に委託し、ごみの削減、減量化に取り組む。</p>					
取組実績	1 令和3年度事業実績					
	委託先		回収内容	回収量	市委託費	
	宮城県漁協石巻地区支所		廃プラ、金属くず等	14m ³	574,035円	
	宮城県漁協石巻湾支所		廃プラ、ガラス類、金属くず、木くず	ガラス類201kg 41.4m ³	861,052円	
	宮城県漁協石巻市東部支所		廃プラ、金属くず、木くず等	20m ³	400,000円	
	宮城県漁協雄勝町東部支所		廃プラ、木くず等	37.9m ³	574,035円	
渡波漁協同組合		廃プラ、金属くず、木くず等	20.85m ³	8,034,192円		
成果	令和3年度は昨年度より2団体増えて5団体が実施し、海洋ごみの回収量も増えた。 (令和2年度実施：石巻地区支所・石巻湾支所・渡波漁船) (令和3年度実施：上記3団体・石巻市東部支所・雄勝町東部支所)					
成果に係る評価	令和3年度も国、県の補助金を受けて、海洋ごみの回収・処理を行うことができ、漁港・海洋環境の保全が図られた。漁業者等が行うごみの削減・減量化に向けた取り組みに対して、今後も継続的に事業を実施し、清掃対象とする漁港や海岸の数を増やしていく必要がある。					
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	10,446,000	10,443,314	8,905,000			1,538,314

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	
	3 項	水産業費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興	
	2 目	水産業振興費		(4)	水産物の流通体制の強化を図る	
担当課	産業部水産課		中 事 業	水産振興事業費		
実施計画掲載ページ	P 96		事 業 名	石巻産食品輸出強化事業		
目的及び事業内容	<p>石巻産食品（農産物・水産物・加工食品）の販路拡大、輸出振興に向けて、海外における石巻ブランドの販路の開拓や一層の輸出数量及び輸出品目の拡大を図るため、輸出に関する取組みへの支援や輸出に必要となる衛生管理水準の向上に要する経費を一部助成する。</p>					
取組実績	令和3年度取組実績					
	<p>1 石巻産食品輸出振興協議会 (1) 広域連携の確立 J E T R O 香港の農林水産・食品コーディネーターによる講演、宮城県国際企画課との連携による米国での物産展への出品 (2) 共同輸出に向けた体制強化 幹事会・事業者会議の開催、事業者ヒアリングの実施、商品リスト作成、相談体制の確立、規制・認証面アドバイザーの起用 (3) 輸出拡大に向けた取り組み 輸出促進に係る補助制度、バイヤーへの営業活動、オンライン商談会への参加、G F P グローバル産地づくり推進事業への申請、アメリカへの販路拡大に向けた現地視察</p> <p>2 水産加工業H A C C P等導入支援事業 2回公募を行ったが、応募がなかった。</p>					
成果	<p>石巻産食品輸出振興協議会に加入している事業者へのアンケート調査の結果では、年々、輸出額が増加しており、継続的な取り組みによる成果が出てきているように感じる。</p> <p>また、水産加工業H A C C P等導入支援事業については、令和3年度において2回公募を行ったが、認証取得に際しては、時間と費用が掛かるため、新型コロナウイルス感染症の影響で減少した売上げの回復に専念する事業者が多いことから、応募する事業者がいなかったと考えられる。しかしながら、衛生管理認証の取得は、市場における競争力確保のためには必要不可欠であることから、支援できる体制を継続していく必要がある。</p>					
成果に係る評価	<p>人口減少に伴い国内市場は縮小傾向にあるが、海外市場は消費者の所得向上、人口増加等により、市場が拡大している。</p> <p>このような背景を踏まえ、政府は、2030年までに5兆円という輸出額目標を掲げ、意欲的に取り組んでいくこととしているなか、本市においては、輸出品が年々増加していることから、市産食品の輸出販路獲得・拡大に向けた取り組みに対し、今後も継続的に支援を行っていく。</p>					
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	12,000,000	12,000,000				12,000,000

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち													
	3 項	水産業費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興													
	2 目	水産業振興費		(1)	漁場環境の保全を推進する													
担当課	産業部水産課		中 事 業	水産振興事業費														
実施計画掲載ページ	P 94		事 業 名	密漁対策助成事業														
目的及び事業内容	<p>広域的・組織的に行われているアワビ・ウニの密漁を防止するため、宮城県中部東海区（雄勝・牡鹿地区、女川町）に位置する宮城県漁業協同組合各支所及び牡鹿漁業協同組合で宮城県中部東海区密漁対策委員会を組織。</p> <p>同委員会に対し、共同監視事業に従事する監視船及び陸上監視所の活動経費の一部を補助し、沿岸水産資源の保護及び漁家経営の安定を図る。</p>																	
取組実績	1 宮城県中部東海区密漁対策委員会による広域密漁監視活動実施状況																	
	実施漁協（支所）名		年間監視実績	監視に要した年間経費	補助金配分額（金額：円）													
			日数	時間														
	宮城県漁協雄勝町東支所 監視船		189	710.5	7,510,659	石巻市 1,462,819												
	宮城県漁協女川町支所（出島）監視船、監視所		134	920.0	2,409,919	女川町 272,735												
	宮城県漁協女川町支所（江島）監視船、監視所		315	2554.0	12,613,233	女川町 1,227,265												
	宮城県漁協奇磯前網支所 監視船		137	274.0	1,994,748	石巻市 422,069												
宮城県漁協谷川支所（泊浜）監視船		アワビ漁解禁前の1ヶ月間及び他支所からの要請により、組合員所有船で監視活動を実施していたが、運航経費の問題から監視活動は実施していない。																
牡鹿漁協 監視船		114	415.0	3,886,004	石巻市 815,112													
宮城県漁協網地島支所 監視船		震災後、運航要員である組合員の高齢化や運航経費問題から常時監視活動は実施していない。また、小型船のため夜間の監視活動は困難である。監視活動は同じ網地島に係留する牡鹿漁協の監視船から要請があった場合補助にあつてはいる。令和3年度、監視活動は実施していない。																
宮城県漁協表浜支所 監視船		監視船第七JFみやぎ丸（1.9トン）は小型船のため夜間の監視活動は困難である。令和3年度、監視活動は実施していない。																
合 計		889	4,873.5	28,414,563	石巻市 2,700,000 女川町 1,500,000													
成果	<p>組合員の高齢化や運航経費の負担などにより監視活動を実施していない漁協支所があるものの、復旧した監視船、監視所による監視活動を行った結果、不審船を発見し、追尾により漁場外に追い出す等密漁行為を未然に防止した。</p> <p>こうした連日実施している監視活動が功を奏した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>当初計画</th> <th>実績</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ監視日数</td> <td>1,002日</td> <td>889日</td> <td>88.7%</td> </tr> <tr> <td>延べ監視時間</td> <td>5,810時間</td> <td>4,873.5時間</td> <td>83.9%</td> </tr> </tbody> </table>							当初計画	実績	割合	延べ監視日数	1,002日	889日	88.7%	延べ監視時間	5,810時間	4,873.5時間	83.9%
	当初計画	実績	割合															
延べ監視日数	1,002日	889日	88.7%															
延べ監視時間	5,810時間	4,873.5時間	83.9%															
成果に係る評価	<p>三陸沿岸域で横行するウニ・アワビ等磯根資源の密漁防止に向けた取り組みは、震災前から行われていたが、震災後は多くの住民が浜から離れた高台に居住しており、夜間の浜は、漁業者の監視の目が届かない状況となっている。</p> <p>悪質で巧妙かつ潜在化する密漁行為を防止するためには、密漁監視船・密漁監視所の継続的な夜間の監視活動は必要不可欠である。しかし監視活動に係る人件費、燃料費等の活動経費は実施主体の大きな負担となっている。本事業を継続的かつ良好に維持し、本市沿岸水産資源の保護、漁家経営の安定のためには継続的な支援が欠かせない。</p>																	
予算の執行状況	（単位：円）																	
	予算額	決算額	決算額の財源内訳															
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源												
	2,700,000	2,700,000			2,700,000													

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	
	3 項	水産業費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興	
	2 目	水産業振興費		(4)	水産物の流通体制の強化を図る	
担当課	産業部水産課		中 事 業	捕鯨活動推進事業費		
実施計画掲載ページ	P96		事 業 名	捕鯨活動推進事業		
目的及び事業内容	<p>全国の捕鯨や鯨食文化に縁のある自治体（34自治体）により「捕鯨を守る全国自治体連絡協議会」を構成し、商業捕鯨再開に向けた活動を行ってきた。本市は、全国でも数少ない基地式捕鯨を抱えていることから、副会長を務めている。平成30年12月、日本政府がIWCを脱退、およそ30年ぶりとなる令和元年7月から商業捕鯨が再開された。</p> <p>しかしながら、商業捕鯨禁止の期間の影響は大きく、捕鯨への理解の低迷、鯨食離れが進んでいることから、今後は、捕鯨産業を将来に渡って維持するための活動を「捕鯨を守る全国自治体連絡協議会」及び「石巻くじら振興協議会と連携して実施していく。</p> <p>「捕鯨を守る全国自治体連絡協議会」のメインイベントである鯨フォーラムを開催。</p> <p>（内訳）</p> <p>8月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・捕鯨を守る全国自治体連絡協議会総会（書面決議） ・「石巻くじら振興協議会」を設立 ・くじら絵画コンクール開催（応募総数：253点） <p>11月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国鯨フォーラム2021石巻開催（参加人数：264名） ・エクスカッション（参加人数：55名） ・くじらフェア開催（参加店舗：23店舗、クーポン使用枚数：2,099枚） ・企画展示「石巻と捕鯨」開催（石巻市役所1階、北上総合支所2階、現上の里 おがつ） ・くじら大絵制作（現在は観光商業施設cottuに展示） ・くじら探訪ツアー開催（参加人数：73名） ・ホエールランド特別企画展 ・鯨フォーラム開催記念頒布会（販売数量：1,021.3kg） 					
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・捕鯨産業及び鯨食文化を推進する活動を行い、捕鯨産業の維持と鯨食文化を後世に継承することを目的として「石巻くじら振興協議会」を設立。 ・コロナ禍の影響により、通年と比較し開催される会議が中止となることが多く、イベント等への参加回数は例年と比較すると少ない傾向にあったが、11月には、コロナ対策を講じたうえで、全国鯨フォーラムを本市で開催。市内向けの鯨関連イベントも多数実施し、「石巻くじら振興協議会」と連携しながら事業を行った。 					
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・捕鯨産業及び鯨食文化を推進する活動を行い、捕鯨産業の維持と鯨食文化を後世に継承することを目的として「石巻くじら振興協議会」を設立。 ・コロナ禍の影響により、通年と比較し開催される会議が中止となることが多く、イベント等への参加回数は例年と比較すると少ない傾向にあったが、11月には、コロナ対策を講じたうえで、全国鯨フォーラムを本市で開催。市内向けの鯨関連イベントも多数実施し、「石巻くじら振興協議会」と連携しながら事業を行った。 					
成果に係る評価	<p>全国鯨フォーラム2021石巻及び、市内くじら関連イベントの開催により、捕鯨産業、文化の啓蒙の一助となる事業を実施することができた。捕鯨産業の維持と鯨食文化を後世に継承するため、次年度以降も、「石巻くじら振興協議会」及びくじら関連団体等と連携し、効果的な事業を展開していく必要がある。</p>					
予算の執行状況	（単位：円）					
	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源
	9,088,000	8,798,600			82,600	8,716,000

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	
	3 項	水産業費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興	
	2 目	水産業振興費		(4)	水産物の流通体制の強化を図る	
担当課	産業部水産課		中 事 業	鯨食普及事業費		
実施計画掲載ページ	P96		事 業 名	鯨食普及事業		
目的及び事業内容	鯨食文化の維持継承及び普及促進並びに海洋食糧資源の持続的利用の啓発を図るため、市民等を対象とした鯨肉頒布等の活動を実施するもの。					
取組実績	1 住民頒布 冷凍鯨肉 頒布数量 12月(牡鹿地区 1日) ミンク鯨赤肉 869 kg (総合運動公園 1日) ミンク鯨赤肉 1,028 kg (北上地区 1日) ミンク鯨赤肉 394 kg 全体 ミンク鯨赤肉 2,291 kg 2 学校給食 保育所 年1回、幼稚園、小・中学校 年2回 合計 1,005kg					
	令和3年度の住民頒布は、令和2年度に引き続き検温や手指消毒、飛沫感染防止パネルの設置等の対策を入念に講じ、開催した。 頒布会開始前から鯨肉を求める市民が列をなし、市民の鯨食に対する関心の高さが伺えた。 また、学校給食において、年2回鯨料理を提供することで地域産業と文化の理解促進に努めたことで、鯨肉の消費拡大及び普及促進が図られた。					
成果に係る評価	商業捕鯨再開から3年が経過しようとしており、今後は、民間主導の鯨食普及事業へと移行していくべきであるが、捕鯨産業の維持には、行政の継続サポートが必要不可欠である。令和4年度からも、鯨食文化を後世へ継承するために、「石巻くじら振興協議会」で鯨肉の販売会等の鯨食普及事業を実施していく。					
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	6,554,000	6,390,750			6,390,750	

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																																																																			
	3 項	水産業費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興																																																																																			
	2 目	水産業振興費		(4)	水産物の流通体制の強化を図る																																																																																			
担当課	産業部水産課		中 事 業	水産物放射性物質対策事業費(東日本大震災関係分)																																																																																				
実施計画掲載ページ	P94		事 業 名	水産物放射能検査事業																																																																																				
目的及び事業内容	東京電力福島第一原発事故の影響に伴う放射能問題について、魚市場を流通する主要な魚種のスクリーニング検査を行い検査結果を迅速に公表することにより、魚市場等で水揚げされる水産物の安全性の確保及び安定した流通を図る。 放射線物質測定機器等の風評被害対策事業 ・簡易測定器による放射能検査の実施 ・放射能情報共有システムによる情報配信																																																																																							
取組実績	1 放射能検査の実施及び放射能情報共有システムの運用 本市では、各魚市場や水産業界と連携し、「石巻から100ペクレル超えの水産物を流通させない。」を目標に掲げ、検査体制を維持し、スクリーニング分析の強化に取り組んでいる。また、これまでの放射性物質検査で得られた測定結果や海域情報などの各種情報を石巻魚市場を利用する卸売人・買受人等の水産業界関係者で体系的に共有し、放射能対策への意識向上と風評被害対策として放射能情報共有システムを運用している。 (1) 令和3年度決算 18,464千円 (2) 令和3年度実績 年間検査検体数 1,116検体検査済み (うち精密検査実施目安50ペクレル超過 0検体)																																																																																							
	※ 本市水産物の放射性物質検査体制(令和4年3月31日現在) <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>機器台数</th> <th>検査時間</th> <th>検査日</th> <th>検査能力</th> <th>検査人員</th> <th>検査対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻売場</td> <td>5台</td> <td>4:00~12:00</td> <td>市場開場日</td> <td>50検体/日</td> <td>2名</td> <td>水揚げ水産物等</td> </tr> <tr> <td>牡鹿売場</td> <td>1台</td> <td>9:00~16:00</td> <td>月~金</td> <td>7検体/日</td> <td>1名</td> <td>水揚げ水産物等</td> </tr> <tr> <td>北上総合支所</td> <td>1台</td> <td>9:00~16:00</td> <td>月~金</td> <td>7検体/日</td> <td>1名</td> <td>水揚げ水産物等</td> </tr> </tbody> </table> ※ 放射能情報共有システムによる情報配信 ・県内外海域における水産物の水揚げ自粛等情報配信 ・日々の放射性物質測定結果速報の配信						設置場所	機器台数	検査時間	検査日	検査能力	検査人員	検査対象	石巻売場	5台	4:00~12:00	市場開場日	50検体/日	2名	水揚げ水産物等	牡鹿売場	1台	9:00~16:00	月~金	7検体/日	1名	水揚げ水産物等	北上総合支所	1台	9:00~16:00	月~金	7検体/日	1名	水揚げ水産物等																																																						
設置場所	機器台数	検査時間	検査日	検査能力	検査人員	検査対象																																																																																		
石巻売場	5台	4:00~12:00	市場開場日	50検体/日	2名	水揚げ水産物等																																																																																		
牡鹿売場	1台	9:00~16:00	月~金	7検体/日	1名	水揚げ水産物等																																																																																		
北上総合支所	1台	9:00~16:00	月~金	7検体/日	1名	水揚げ水産物等																																																																																		
成果	本事業で放射性物質測定を実施することにより、宮城県内で最も充実した検査体制を備えた産地魚市場として水揚げされる水産物の安全性の確保及び安定的な流通が図られた。 1 市場流通数(魚種)及び年間検査検体数(検体) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">H24</td> <td>120魚種</td> <td>119魚種</td> <td>99%</td> <td rowspan="2">H29</td> <td>80魚種</td> <td>69魚種</td> <td>86%</td> </tr> <tr> <td>5,000検体</td> <td>5,239検体</td> <td>105%</td> <td>4,000検体</td> <td>2,861検体</td> <td>72%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H25</td> <td>120魚種</td> <td>92魚種</td> <td>77%</td> <td rowspan="2">H30</td> <td>80魚種</td> <td>69魚種</td> <td>86%</td> </tr> <tr> <td>5,000検体</td> <td>5,906検体</td> <td>118%</td> <td>4,000検体</td> <td>1,759検体</td> <td>44%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H26</td> <td>120魚種</td> <td>121魚種</td> <td>101%</td> <td rowspan="2">R1</td> <td>80魚種</td> <td>55魚種</td> <td>68%</td> </tr> <tr> <td>5,000検体</td> <td>4,858検体</td> <td>97%</td> <td>4,000検体</td> <td>1,132検体</td> <td>28%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H27</td> <td>120魚種</td> <td>63魚種</td> <td>53%</td> <td rowspan="2">R2</td> <td>70魚種</td> <td>61魚種</td> <td>87%</td> </tr> <tr> <td>5,000検体</td> <td>4,103検体</td> <td>82%</td> <td>3,500検体</td> <td>1,170検体</td> <td>33%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H28</td> <td>80魚種</td> <td>76魚種</td> <td>95%</td> <td rowspan="2">R3</td> <td>70魚種</td> <td>49魚種</td> <td>70%</td> </tr> <tr> <td>4,000検体</td> <td>3,736検体</td> <td>93%</td> <td>1,500検体</td> <td>1,116検体</td> <td>74%</td> </tr> </tbody> </table>						区分	成果指標		達成率	区分	成果指標		達成率	目標値	実績	目標値	実績	H24	120魚種	119魚種	99%	H29	80魚種	69魚種	86%	5,000検体	5,239検体	105%	4,000検体	2,861検体	72%	H25	120魚種	92魚種	77%	H30	80魚種	69魚種	86%	5,000検体	5,906検体	118%	4,000検体	1,759検体	44%	H26	120魚種	121魚種	101%	R1	80魚種	55魚種	68%	5,000検体	4,858検体	97%	4,000検体	1,132検体	28%	H27	120魚種	63魚種	53%	R2	70魚種	61魚種	87%	5,000検体	4,103検体	82%	3,500検体	1,170検体	33%	H28	80魚種	76魚種	95%	R3	70魚種	49魚種	70%	4,000検体	3,736検体	93%	1,500検体	1,116検体	74%
区分	成果指標		達成率	区分	成果指標			達成率																																																																																
	目標値	実績			目標値	実績																																																																																		
H24	120魚種	119魚種	99%	H29	80魚種	69魚種	86%																																																																																	
	5,000検体	5,239検体	105%		4,000検体	2,861検体	72%																																																																																	
H25	120魚種	92魚種	77%	H30	80魚種	69魚種	86%																																																																																	
	5,000検体	5,906検体	118%		4,000検体	1,759検体	44%																																																																																	
H26	120魚種	121魚種	101%	R1	80魚種	55魚種	68%																																																																																	
	5,000検体	4,858検体	97%		4,000検体	1,132検体	28%																																																																																	
H27	120魚種	63魚種	53%	R2	70魚種	61魚種	87%																																																																																	
	5,000検体	4,103検体	82%		3,500検体	1,170検体	33%																																																																																	
H28	80魚種	76魚種	95%	R3	70魚種	49魚種	70%																																																																																	
	4,000検体	3,736検体	93%		1,500検体	1,116検体	74%																																																																																	
成果に係る評価	市内魚市場等から基準を超える水産物を流通させないための検査を実施することができた。 さらに、新しく非破壊式放射能測定装置が導入されたため、検査時間の短縮が可能になり業務の効率化が図られた。 また、国の検査対象魚種は年々減少傾向にあるものの、国内(関西以南)や国外における風評被害は依然残存しており、さらにトリチウムなどを含む処理水の海洋放出の決定も受け、風評被害が加速することが懸念されている。特に、国外においては現在も20カ国が日本産食品の輸入規制を行っており、引き続き風評被害の払拭に努める。																																																																																							
(単位：円)																																																																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																		
	19,180,000	18,463,500			18,463,500																																																																																			

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	
	3 項	水産業費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興	
	5 目	漁港建設費		(6)	水産基盤の充実を図る	
担当課	産業部水産課		中 事 業	漁港施設改良事業費		
実施計画掲載ページ	P 98		事 業 名	漁港施設改良事業		
目的及び事業内容	復旧事業完了後の、漁港利用状況の変化及び自然条件の変化に対応した漁港施設の機能強化・改良・整備を行う事業。					
取組実績	<p>1 漁港施設改良事業</p> <p>(1) 業務</p> <p>ア 漁港漁場整備事業評価業務(単独) 石巻市水産物供給基盤整備事業(石巻漁港)事後評価業務【委託料:3,630,000円】R3現年</p> <p>(2) 工事</p> <p>ア 小淵漁港車止め設置工事(補助) 内容:転落防止用車止め設置・整備延長121.5m【工事費:6,694,600円】R3現年</p> <p>イ 牧ノ浜漁港道路護岸嵩上げ工事(補助) 内容:道路護岸嵩上げ・延長169.86m【工事費:3,735,600円】R3現年</p> <p>ウ 荒漁港臨港道路照明設置工事(単独) 内容:臨港道路照明灯設置・設置数4台【工事費:126,500円】R3現年</p> <p>エ 小竹漁港突堤改良工事(単独) 内容:突堤階段設置・1箇所【工事費:935,000円】R3現年</p> <p>オ 泊漁港-3.0m岸壁車止め設置工事(単独) 内容:転落防止用車止め設置・整備延長16m【工事費:220,000円】R3現年</p> <p>カ 前網漁港船揚場波止設置工事(単独) 内容:各物揚場波止設置・整備延長111.7m【工事費:3,722,400円】R3現年</p> <p>キ 谷川漁港(大谷川)ガードパイプ設置工事(単独) 内容:物揚場、漁港道路等ガードパイプ設置・整備延長104.9m【工事費:895,400円】R3現年</p> <p>(3) その他需用費等【計:3,382,367円】R3現年</p>					
成 果	小淵漁港ほか計7漁港の機能強化・改良工事を実施した。					
成果に係る評価	車止め設置工事、波止設置工事、道路護岸嵩上げ工事など機能強化・改良工事の実施に伴い、漁港施設利用者の施設使用の安全に資することができた。					
(単位:円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	24,388,000	23,341,867	4,693,000	7,500,000		11,148,867

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	
	3 項	水産業費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興	
	5 目	漁港建設費		(6)	水産基盤の充実を図る	
担当課	産業部水産課		中 事 業	水産物供給基盤機能保全事業費		
実施計画掲載ページ	P 98		事 業 名	水産物供給基盤機能保全事業(市事業分)		
目的及び事業内容	本市漁港施設の機能を保全するために必要な維持管理や保全・更新工事を盛り込んだ計画を策定し、効率的な維持管理や既存施設の長寿命化対策を行い、ライフサイクルコストの縮減及び対策コストの平準化を図る。 管理漁港施設の機能保全計画の策定及び計画に基づく保全工事の実施。					
取組実績	<p>1 水産物供給基盤機能保全事業</p> <p>(1) 業務</p> <p>ア 長面漁港ほか漁港施設機能保全計画策定業務(単独) 内容:長面・名振・船越・前網・竹ノ浜・折ノ浜・月浦漁港現地調査・機能保全計画検討一式【委託料:7,533,000円(R2繰越)※請負額29,483,300円のうち完成払分】</p> <p>イ 水浜分浜漁港水浜北防波堤実施設計業務(補助) 内容:水浜分浜漁港水浜北防波堤機能保全工事に係る基本・細部・実施設計業務一式【委託料:5,823,400円】(R3現年)</p> <p>(2) 工事</p> <p>ア 水浜分浜漁港水浜北防波堤機能保全工事(補助) 内容:水浜北防波堤新設区間撤去工事・撤去延長47.7m【工事費:134,531,100円】(R3現年4,613,400円 R1事故繰129,917,700円)</p> <p>イ 水浜分浜漁港水浜北防波堤機能保全(その2)工事(補助) 内容:水浜北防波堤新設区間鋼管杭設置、基礎捨石撤去工事等【工事費:40,550,000円】(R3現年)※89,013,200円繰越</p> <p>ウ 羽坂漁港羽坂船揚場ほか機能保全工事(単独) 内容:羽坂船揚場被覆石工 施工延長60m、コンクリート工 施工延長4m、2号護岸根積工 施工延長35m【工事費:8,307,200円】(R3現年)</p>					
成 果	老朽化が進行する施設の機能保全コストの更なる縮減を図る事業であるが、近年の技術的知見の集積を踏まえ機能保全計画策定業務を行い、各施設の健全度が明確化された【A判定(機能が低下している)27施設、B判定(予防が必要)38施設]。 また、判定に基づき機能が低下している施設(水浜北防波堤・羽坂船揚場等)の機能保全工事を進めることができた。					
成果に係る評価	本事業は、令和元年度より計画策定の取り組みを開始し、機能が損なわれている施設及び低下した施設を明確化し、計画的に保全工事を実施し施設の強化につなげることができた事業である。 健全度が明確化されたことにより、機能保全工事を実施すべき箇所を適正に判断することが可能となり、工事を進めることができた。					
(単位:円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	198,524,500	196,744,700	90,451,000	81,300,000		24,993,700

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章																																	
	3 項	水産業費		第 節																																	
	6 目	東日本大震災関係費		()																																	
担当課	産業部水産課		中 事 業	水産業復興対策費																																	
実施計画掲載ページ			事 業 名	水産業従業員宿舍整備事業〔復興基金〕																																	
目的及び事業内容	<p>東日本大震災により被害を受けた本市の基幹産業の水産業の生産能力向上のため、中小水産業者等が実施する従業員確保（外国人実習生含む）のための宿舍整備を宮城県と協調して支援することにより、水産業の復興を促進するもの。</p> <p>従業員の宿舍を整備するため、宮城県が実施する「水産業従業員宿舍整備事業費補助金」に対する嵩上げ補助を行うもの。</p>																																				
取組実績	<p>1 令和3年度事業実績</p> <p>令和2年度に宮城県の公募事業に採択された事業者のうち石巻市内の事業者は13者あり、令和2年度内に1者完了し、未完了の12者については、令和3年度へ繰越明許となっていた。</p> <p>その12者のうち8者は、事業が完了したため補助金を交付したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で資材等が確保できない等の理由で未完了となった4者は、令和4年度へ事故繰越となった。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>交付決定</th> <th>事業完了</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>13者</td> <td>1者</td> <td>2,100,000円</td> <td>525,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>8者</td> <td>8者</td> <td>250,304,250円</td> <td>55,166,713円</td> <td>繰越明許</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>13者</td> <td>9者</td> <td>252,404,250円</td> <td>55,691,713円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(令和4年度へ事故繰越となる分)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>決定年度</th> <th>交付決定</th> <th>事業費</th> <th>補助金交付決定額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>4者</td> <td>121,616,810円</td> <td>30,106,390円</td> </tr> </tbody> </table>					年度	交付決定	事業完了	事業費	補助金額	備 考	令和2年度	13者	1者	2,100,000円	525,000円		令和3年度	8者	8者	250,304,250円	55,166,713円	繰越明許	合計	13者	9者	252,404,250円	55,691,713円		決定年度	交付決定	事業費	補助金交付決定額	令和2年度	4者	121,616,810円	30,106,390円
年度	交付決定	事業完了	事業費	補助金額	備 考																																
令和2年度	13者	1者	2,100,000円	525,000円																																	
令和3年度	8者	8者	250,304,250円	55,166,713円	繰越明許																																
合計	13者	9者	252,404,250円	55,691,713円																																	
決定年度	交付決定	事業費	補助金交付決定額																																		
令和2年度	4者	121,616,810円	30,106,390円																																		
成 果	<p>東日本大震災により被害を受けた本市水産業の雇用回復のため、中小の水産事業者等が従業員（外国人実習生含む）確保のための宿舍整備に対し、平成27年度から、宮城県が補助事業を実施している。本市においても嵩上げ補助を実施することで、事業者の負担が軽減され、本事業の利用が促進され、水産事業者の雇用環境が整備された。令和3年度は、繰越明許となっていた12者のうち8者が完了した。</p>																																				
成果に係る評価	<p>震災後、漁業従事者及び水産加工業従業員の確保が課題となっており、各事業者においても、課題解決に向け労働環境の整備や外国人技能実習生の受入に取り組んでいるところである。各事業者が行う雇用対策と並行し、本事業を通して自社の宿舍を整備したことで、従事者の生活環境の充実と住環境にかかる経費の軽減が図られている。事業開始から累計で49者を採択しており、事故繰越となった4者についても早期の事業完了を促し、本市水産業の雇用対策促進と経営の安定化を図っていく。</p>																																				
予算の執行状況	(単位：円)																																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																															
	55,517,610	55,166,713			55,166,713																																

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章																																				
	3 項	水産業費		第 節																																				
	6 目	東日本大震災関係費		()																																				
担当課	復興企画部復興推進課		中 事 業	漁業集落防災機能強化事業費																																				
実施計画掲載ページ			事 業 名	漁業集落防災機能強化事業〔復興交付金〕〔復興基金〕																																				
目的及び事業内容	<p>東日本大震災により被災した漁業集落について、土地利用の再検討や集落の復興並びに防災機能の強化を図り、生活基盤の復興を推進するため、集落道、避難路、排水路及び水産関係用地等の整備を行うもの。</p>																																							
取組実績	<p>令和3年度事業実施状況</p> <p>過年度に引き続き漁業集落の整備を行った。</p> <p>令和3年度整備完了地区</p> <p>本庁 4地区 牧浜、小積浜、桃浦、祝田 河北 1地区 尾崎 牡鹿 7地区 前網浜、鮫浦、大谷川浜、鮎川浜、小洲浜、給分浜、小網倉・清水田浜 計 12地区</p>																																							
成 果	<p>上記事業の実施により12地区が完成し、被災した集落の復興や防災機能の強化が図られた。</p> <p>○ 整備済地区数</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象地区</th> <th>漁集事業のみ</th> <th>漁集及び低平地事業</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7</td> <td>50</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>完成地区</td> <td>7</td> <td>49</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>うち平成28年度</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>うち平成29年度</td> <td>1</td> <td>8</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>うち平成30年度</td> <td>2</td> <td>10</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>うち令和元年度</td> <td>1</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>うち令和2年度</td> <td>0</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>うち令和3年度</td> <td>1</td> <td>11</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>					対象地区	漁集事業のみ	漁集及び低平地事業	計	7	50	57	完成地区	7	49	56	うち平成28年度	2	1	3	うち平成29年度	1	8	9	うち平成30年度	2	10	12	うち令和元年度	1	9	10	うち令和2年度	0	10	10	うち令和3年度	1	11	12
対象地区	漁集事業のみ	漁集及び低平地事業	計																																					
	7	50	57																																					
完成地区	7	49	56																																					
うち平成28年度	2	1	3																																					
うち平成29年度	1	8	9																																					
うち平成30年度	2	10	12																																					
うち令和元年度	1	9	10																																					
うち令和2年度	0	10	10																																					
うち令和3年度	1	11	12																																					
成果に係る評価	<p>他事業との工程調整や資材・労務の確保に積極的に努めたことにより12地区について完成することができた。なお、令和4年度は残る1地区（長面地区）について漁業生産基盤再生のため、他事業との連携を図りながら事業の早期完成を目指す。</p>																																							
予算の執行状況	(単位：円)																																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																		
	1,631,090,000	1,587,699,412	132,320,000		1,091,728,228	363,651,184																																		

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																																																				
	1 項	商工費		第5節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																																																																				
	2 目	商工業振興費		(3)	各種相談事業を充実させる																																																																				
担当課	産業部商工課		中 事 業	消費者行政事業費																																																																					
実施計画掲載ページ	P89		事 業 名	消費者行政対策事業																																																																					
目的及び事業内容	消費生活における安全・安心の確保のため、消費生活相談員を配置して消費者被害の未然防止と救済に取り組むほか、自立した消費者の育成を図るため、消費者教育と消費生活に関する啓発を推進する。 また、消費者行政の強化を図るため、消費生活相談体制の強化・充実を図っており、消費者被害の防止とともに、市民の消費生活に関する安心確保に努める。																																																																								
取組実績	1 ラジオ石巻による啓発 週3回、2分程度の放送により悪質商法の手口の紹介や被害防止の注意喚起を行った。 2 地元紙「石巻かほく」への記事掲載 毎月第4土曜日、5段1/4スペースに様々な消費者被害の事例を掲載し注意喚起を行った。 3 消費者講演会等の実施 (1)市内小中学生を対象とした弁護士による消費者教育のための講演会（計4回開催、195名参加） ・ 牡鹿中学校・桃生小学校・釜小学校・万石浦小学校 (2)市民を対象とした出前講座「消費者被害にあわないために」の開催（計2回、48名参加） 4 啓発グッズの作製 高齢者等の詐欺被害防止を目的とした啓発用品の作製 （マスク16,000枚 マスクケース10,000個）																																																																								
成 果	消費生活相談員を配置し、消費者からの相談に迅速かつ適切な対応を行うとともに、情報資料等の提供により消費者への啓発に寄与した。 1 消費生活相談実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>金融・保険</th> <th>通信・運輸</th> <th>リース・賃貸</th> <th>工事・建築</th> <th>その他</th> <th>相談件数合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>218件</td> <td>163件</td> <td>67件</td> <td>21件</td> <td>636件</td> <td>1,105件</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>208件</td> <td>146件</td> <td>65件</td> <td>24件</td> <td>642件</td> <td>1,085件</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>204件</td> <td>60件</td> <td>58件</td> <td>29件</td> <td>517件</td> <td>868件</td> </tr> </tbody> </table> 2 多重債務相談件数（年代別） <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>※（ ）内は割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10～20代</td> <td>11人（7.0%）</td> <td>25人（15.2%）</td> <td>12人（8.1%）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>30代</td> <td>25人（15.9%）</td> <td>21人（12.7%）</td> <td>20人（13.5%）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40代</td> <td>28人（17.8%）</td> <td>24人（14.5%）</td> <td>17人（11.5%）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>50代</td> <td>36人（22.9%）</td> <td>34人（20.6%）</td> <td>38人（25.7%）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>60代以上</td> <td>50人（31.9%）</td> <td>61人（37.0%）</td> <td>58人（39.2%）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不明</td> <td>7人（4.5%）</td> <td>0人（0%）</td> <td>3人（2.0%）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>157人</td> <td>165人</td> <td>148人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					年度	金融・保険	通信・運輸	リース・賃貸	工事・建築	その他	相談件数合計	R1	218件	163件	67件	21件	636件	1,105件	R2	208件	146件	65件	24件	642件	1,085件	R3	204件	60件	58件	29件	517件	868件	区分	R1	R2	R3	※（ ）内は割合	10～20代	11人（7.0%）	25人（15.2%）	12人（8.1%）		30代	25人（15.9%）	21人（12.7%）	20人（13.5%）		40代	28人（17.8%）	24人（14.5%）	17人（11.5%）		50代	36人（22.9%）	34人（20.6%）	38人（25.7%）		60代以上	50人（31.9%）	61人（37.0%）	58人（39.2%）		不明	7人（4.5%）	0人（0%）	3人（2.0%）		合計	157人	165人	148人	
年度	金融・保険	通信・運輸	リース・賃貸	工事・建築	その他	相談件数合計																																																																			
R1	218件	163件	67件	21件	636件	1,105件																																																																			
R2	208件	146件	65件	24件	642件	1,085件																																																																			
R3	204件	60件	58件	29件	517件	868件																																																																			
区分	R1	R2	R3	※（ ）内は割合																																																																					
10～20代	11人（7.0%）	25人（15.2%）	12人（8.1%）																																																																						
30代	25人（15.9%）	21人（12.7%）	20人（13.5%）																																																																						
40代	28人（17.8%）	24人（14.5%）	17人（11.5%）																																																																						
50代	36人（22.9%）	34人（20.6%）	38人（25.7%）																																																																						
60代以上	50人（31.9%）	61人（37.0%）	58人（39.2%）																																																																						
不明	7人（4.5%）	0人（0%）	3人（2.0%）																																																																						
合計	157人	165人	148人																																																																						
成果に係る評価	消費者被害を防ぐため地元紙や地元ラジオ局などによる注意喚起を行っており、例年に比べ全体の相談件数は減少しているものの、依然として多重債務相談件数は60代以上の割合が増加傾向にある。 また、令和4年4月から成年年齢が20歳から18歳に引き下げられたことから、若年層の消費者トラブルの増加が懸念されるため、今後も各年齢層に応じた広報・啓発事業の充実を図るとともに、消費者被害の注意喚起として各種事業を継続する必要がある。																																																																								
予算の執行状況	（単位：円）																																																																								
予算額	13,927,000	決算額	決算額の財源内訳			11,343,089																																																																			
			国（県）支出金	地方債	その他																																																																				
決算額	13,400,189	2,057,100																																																																							

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章																													
	1 項	商工費		第 節																													
	2 目	商工業振興費		()																													
担当課	産業部観光課		中 事 業	物産振興事業費																													
実施計画掲載ページ			事 業 名	物産PR・イベント事業																													
目的及び事業内容	県内外各地で開催されるイベント等の場において、石巻市の物産やイベント等のPRを実施し購買促進を図る。 地場産品の紹介や現地での販売により、販路拡大を促進し、地場産業の振興を図る。																																
取組実績	石巻市の特産品のPR及び販売促進を図った。 1 観光物産PR等実施先 <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>場所</th> <th>開催日</th> <th>入込数等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>みやぎ三陸フリーウェイ2021</td> <td>オンライン販売</td> <td>7.5～7.31</td> <td>198,000円販売</td> </tr> <tr> <td>三陸道全線開通イベントin気仙沼</td> <td>三陸道気仙沼</td> <td>7.17～7.18</td> <td>1,000人</td> </tr> <tr> <td>石巻地域の物産と観光展inあつかしの郷</td> <td>あつかしの郷</td> <td>7.10～7.25</td> <td>88,700人</td> </tr> <tr> <td>岩手町「SDGs Tour」連携イベント</td> <td>東京都丸の内</td> <td>8.17～9.2</td> <td>837人</td> </tr> <tr> <td>食材王国みやぎマルシェ</td> <td>宮城県庁</td> <td>11.18～11.19</td> <td>108,000円販売</td> </tr> <tr> <td>三陸復興国立公園協会観光PRブース出展</td> <td>イオンスタイル仙台卸町</td> <td>2.7～2.10</td> <td>513人</td> </tr> </tbody> </table> ※ひたちなか市産業交流フェア、米沢市上杉雪灯籠まつり等、例年開催されるイベントについては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。					名称	場所	開催日	入込数等	みやぎ三陸フリーウェイ2021	オンライン販売	7.5～7.31	198,000円販売	三陸道全線開通イベントin気仙沼	三陸道気仙沼	7.17～7.18	1,000人	石巻地域の物産と観光展inあつかしの郷	あつかしの郷	7.10～7.25	88,700人	岩手町「SDGs Tour」連携イベント	東京都丸の内	8.17～9.2	837人	食材王国みやぎマルシェ	宮城県庁	11.18～11.19	108,000円販売	三陸復興国立公園協会観光PRブース出展	イオンスタイル仙台卸町	2.7～2.10	513人
名称	場所	開催日	入込数等																														
みやぎ三陸フリーウェイ2021	オンライン販売	7.5～7.31	198,000円販売																														
三陸道全線開通イベントin気仙沼	三陸道気仙沼	7.17～7.18	1,000人																														
石巻地域の物産と観光展inあつかしの郷	あつかしの郷	7.10～7.25	88,700人																														
岩手町「SDGs Tour」連携イベント	東京都丸の内	8.17～9.2	837人																														
食材王国みやぎマルシェ	宮城県庁	11.18～11.19	108,000円販売																														
三陸復興国立公園協会観光PRブース出展	イオンスタイル仙台卸町	2.7～2.10	513人																														
成 果	コロナ禍において、観光物産PRの場は限られたが、感染症対策を講じながら、石巻観光協会や宮城県と連携し、物産展やイベント等に参加し、市産品のPRを実施した。 いしびよんず登場や、ノベルティ配布等により集客を促進し、効果的なPRを行うことができたことから、販路拡大の促進や地場産業の振興が図られた。																																
成果に係る評価	本事業により、地場産品及び伝統工芸品の販路拡大、産地間の交流に寄与している。他地域における石巻市の知名度の向上及び地場産品のブランド化を推進することは産業振興にもつながることから、今後も積極的に物産PRを実施し、地域産業の活性化を推進していく。 コロナ禍の中、物産PRにおける環境は依然厳しい状況にあるが、石巻観光協会や、「食彩・感動いしのまき」観光推進協議会と連携し、さらなる活性化に繋げたい。																																
予算の執行状況	（単位：円）																																
予算額	999,428	決算額	決算額の財源内訳			829,110																											
			国（県）支出金	地方債	その他																												
決算額	829,110																																

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち
	1 項	商工費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興
	2 目	商工業振興費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する
担当課	産業部観光課		中 事 業	物産振興事業費	
実施計画掲載ページ	P 92		事 業 名	伝統技術継承支援事業（伝統工芸品支援事業）	
目的及び事業内容	<p>・ 年次計画を柱に実施される事業活動への支援を行い、地場産業の振興を図る。 ・ 後継者に対する技術指導をはじめ、伝統工芸品の販路開拓や、販路の拡大、各種展示会や物産展に参加し、伝統工芸品のPR事業を実施する。</p>				
取組実績	<p>雄勝硯、雄勝石工芸品のPR、販路拡大を行うことによる振興事業 1 共同事業・・・製品の共同販売や原材料の共同購入 2 共同検査事業・・・品質保持のための共同販売製品検査 後継者への指導育成と商品検品方法伝授 3 共同広告事業・・・統一広告媒体の製作（硯等のパンフレット等） 4 産業振興事業・・・物産展への出店（実演販売等） 雄勝石を活用したワークショップの開催 5 教育情報提供による後継者育成事業 ・・・組合員等を対象にした技術向上研修や後継者への技術伝承活動の実施</p> <p>令和3年度実績 需要開拓 関東1回 県内2回 延べ35日（コロナの影響により、製品等の出品のみ。） ワークショップ（my硯） 4回 その他、硯製作技術研修会 30回</p>				
成 果	<p>販路拡大に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により回数が減り物足りなさはあるが、技術継承に重点をシフトし実施してきたことは大きな成果であると言える。なお、道の駅内にある雄勝硯伝統産業会館を今以上活用した取り組みに期待したい。</p>				
成果に係る評価	<p>雄勝石産業の振興を図るため組合の事業基盤の強化に努めるとともに、事業承継を円滑に行うために後継者育成を実施し、県内外において雄勝硯や石工芸品等の需要拡大を目的とした展示、販売を行っている。 また、県内外での物産展など積極的に参加し、販路拡大のPR活動を行ったほか、My硯製作体験といった手作りの技と伝統文化に接する機会を提供することができた。</p>				
（単位：円）					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国（県）支出金	地方債	その他
	1,500,000	1,500,000			1,500,000

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち												
	1 項	商工費		第 5 節	企業誘致の推進と新たな産業の創出												
	2 目	商工業振興費		(2)	新規創業や第二創業を促進する												
担当課	産業部産業推進課		中 事 業	産業振興事業費													
実施計画掲載ページ	P 85		事 業 名	産業振興対策事業													
目的及び事業内容	<p>金融機関等の支援事業者と連携しながら、本市独自の補助制度により創業希望者への経費支援を行うとともに、市内事業者を対象とした各種相談会や中小企業セミナー等の開催により、新規創業の促進と産業の振興を図る。</p>																
取組実績	<p>経済団体、支援事業者、金融機関等で組織する「石巻市創業支援事業者連携会議」を開催し、活動状況等の情報共有とともに連携を密にしながら各種創業支援等を実施したほか、本市独自の支援制度である「石巻市創業支援補助金制度」により創業に要する経費等の一部を補助し創業を促した。 また、石巻産業創造館において無料の相談会や各種セミナーを開催し、創業に関する魅力や理解と関心の向上に努め、次代を担う若手経営者の育成や市内事業者の支援を行った。</p> <p>1 各種創業支援等事業の実施 ・相談窓口の開設 延べ利用者：58者（うち創業関連：延べ30者） ・起業・経営等相談会 延べ利用者：26者（うち創業関連：延べ16者）</p> <p>2 石巻市創業支援補助金の交付 ・17件 7,666,924円</p> <p>3 中小企業・創業機運醸成セミナーの実施 ・助成金と補助金活用セミナー 33名参加 ・ECサイトで販路拡大セミナー 14名参加 ・創業後の事務処理対策セミナー 9名参加 ・POPを知って創るセミナー 17名参加 ・独立開業セミナー 13名参加</p> <p>4 若手経営者育成のための経営革新塾の実施 ・6回（1クール）開催 15名参加</p>																
成 果	<p>令和3年度の創業支援事業の実施により創業した件数は9件であった。 また、令和3年度は国の認定を受けている本市の創業支援等事業計画の計画期間を令和8年3月31日まで延伸し、創業者に対する支援を継続していく体制を整理した。この創業支援等事業計画に定める特定創業支援事業として創業開成塾を開催したことで創業予定者が経営、財務、人材育成、販路開拓等の知識の習得を図ることを支援した。 このような支援を実施してきた成果として、直近5年間（平成29年度から令和3年度まで）に特定創業支援等事業により支援を受けたことの証明書を発行した創業者のもとで働く従業員（雇用者）の人数は令和4年3月末時点で66名であり、新規創業の促進と合わせて雇用創出が図られた。</p> <p>令和3年度創業件数の内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>業種</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>卸売業、小売業</td> <td>1 件</td> </tr> <tr> <td>宿泊業、飲食サービス業</td> <td>6 件</td> </tr> <tr> <td>生活関連サービス業、娯楽業</td> <td>1 件</td> </tr> <tr> <td>学術研究、専門・技術サービス</td> <td>1 件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>9 件</td> </tr> </tbody> </table>					業種	件数	卸売業、小売業	1 件	宿泊業、飲食サービス業	6 件	生活関連サービス業、娯楽業	1 件	学術研究、専門・技術サービス	1 件	合計	9 件
業種	件数																
卸売業、小売業	1 件																
宿泊業、飲食サービス業	6 件																
生活関連サービス業、娯楽業	1 件																
学術研究、専門・技術サービス	1 件																
合計	9 件																
成果に係る評価	<p>市内金融機関や産業支援機関等で構成する「石巻市創業支援事業者連携会議」における支援情報の共有を密に行いながら、各支援事業者の役割分担のもと、創業支援と創業後のフォローアップを実施することができた。 また、創業支援補助金については今後も持続的な支援を継続していくために交付基準（対象者、交付限度額等）を見直し、適切な制度運営を行うことができた。今後も創業の促進と創業者のフォローアップによる経営の安定化に向けた支援に取組んでいき、産業の振興と雇用の促進を図る。</p>																
（単位：円）																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳														
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源											
	22,673,000	16,840,526			7,666,924	9,173,602											

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第4章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																				
	1 項	商工費		第5節	企業誘致の推進と新たな産業の創出																				
	2 目	商工業振興費		(1)	新規及び既存企業への立地などに伴う支援を推進する																				
担当課	産業部産業推進課		中 事 業	企業立地等促進事業費																					
実施計画掲載ページ	P85		事 業 名	企業誘致等支援事業																					
目的及び事業内容	<p>石巻市企業立地等促進条例に基づく各種助成金の交付により、市内外企業者の立地を促進し、立地後における企業者のランニングコスト軽減を図る。</p> <p>また、宮城県企業立地セミナーへの参加を通じて業界情報を収集するとともに、本市への企業立地意向を確認するためのアンケート調査において、興味を示した企業に対する積極的な訪問を実施し、本市独自のインセンティブである各種助成金交付制度等をアピールする。</p>																								
取組実績	企業訪問件数 77件																								
	<p>石巻市企業立地等促進条例助成金交付実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>交付件数</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・企業立地助成金</td> <td>24 件</td> <td>19,398,200 円</td> </tr> <tr> <td>・上水道料金助成金</td> <td>8 件</td> <td>2,515,925 円</td> </tr> <tr> <td>・雇用奨励助成金</td> <td>5 件</td> <td>3,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>・環境対策設備助成金</td> <td>3 件</td> <td>60,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>・新産業等創出促進助成金</td> <td>1 件</td> <td>30,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>41 件</td> <td>114,914,125 円</td> </tr> </tbody> </table>					項目	交付件数	交付額	・企業立地助成金	24 件	19,398,200 円	・上水道料金助成金	8 件	2,515,925 円	・雇用奨励助成金	5 件	3,000,000 円	・環境対策設備助成金	3 件	60,000,000 円	・新産業等創出促進助成金	1 件	30,000,000 円	合計	41 件
項目	交付件数	交付額																							
・企業立地助成金	24 件	19,398,200 円																							
・上水道料金助成金	8 件	2,515,925 円																							
・雇用奨励助成金	5 件	3,000,000 円																							
・環境対策設備助成金	3 件	60,000,000 円																							
・新産業等創出促進助成金	1 件	30,000,000 円																							
合計	41 件	114,914,125 円																							
成 果	<p>令和3年度において29社に対し、各種助成金41件を交付し、企業者が新規で雇用した常用従業員数は8人であった。</p> <p>令和3年10月に「石巻市企業立地等促進条例」を全部改正し、指定企業者要件や対象業種を見直すとともに、分譲単価が高い産業ゾーンへの企業立地を促進する観点から、産業ゾーンを含む二線堤海側及び半島沿岸部について、県内平均単価の差額を支援する用地取得費助成金を新設した。</p> <p>また、情報関連・バックオフィス等の企業はイニシャルコストが低額で、改正前の同条例では助成金交付対象要件を満たさない事例があったことを踏まえ、当該企業向けの制度を新設し、企業立地に対する魅力向上を図った。</p>																								
成果に係る評価	<p>令和3年度は新規誘致企業に留まらず、市内企業の増設・移設等に対する支援も積極的に行った。</p> <p>今後、更なる企業立地を促進するべく、内陸部への引き合い状況及び企業者の設備投資意向や各種助成金の活用実績等を注視し、時代に即した制度について検討しながら、事業者にとって活用しやすい助成金の整備と積極的な企業訪問による企業誘致に努めていく。</p>																								
予算の執行状況	(単位：円)																								
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																			
124,554,000	114,914,125				114,914,125																				

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第4章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち											
	1 項	商工費		第1節	賑わいと活気にあふれる商工業の振興											
	2 目	商工業振興費		(4)	中心市街地活性化を推進する											
担当課	産業部商工課		中 事 業	中心市街地活性化事業費												
実施計画掲載ページ	P89		事 業 名	中心市街地賑わい創出事業												
目的及び事業内容	<p>中心市街地において、活発なイベント開催支援や空き地・空き店舗を活用した新規出店を促すことで賑わいを創出するとともに、交流人口の拡大と来訪者の回遊性向上を図る。</p>															
取組実績	1 中心市街地賑わい創出事業の交付実績 8,485,000円															
	<p>(1) 助成件数及び金額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空き地・空き店舗活用助成金</td> <td>5件</td> <td>7,439,000円</td> </tr> <tr> <td>マンガロード新名物創出事業</td> <td>2件</td> <td>254,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7件</td> <td>7,693,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) マンガロード新名物創出サポート業務委託料 792,000円</p>					事業名	件数	金額	空き地・空き店舗活用助成金	5件	7,439,000円	マンガロード新名物創出事業	2件	254,000円	計	7件
事業名	件数	金額														
空き地・空き店舗活用助成金	5件	7,439,000円														
マンガロード新名物創出事業	2件	254,000円														
計	7件	7,693,000円														
成 果	<p>事業の実施により、中心市街地の賑わい創出が図られた。</p> <p>1 石巻市空き地・空き店舗活用事業助成金 空き地や空き店舗等の遊休不動産を有効活用することによって、立町・中央エリアや駅前エリアに賑わいを創出することができた。</p> <p>2 マンガロード新名物創出事業補助金 石巻の新名物となるような商品を2件開発することができ、一部商品についてはマスコミ等に取り上げられるなど石巻の中心市街地の認知度向上につながった。 なお、本補助金の活用には著作権者との交渉等が必要になることから、株式会社街づくりまんぼうに事業者のサポート業務を委託し、9事業者と新商品に関する企画検討を行い、その中から2件商品化することができた。</p>															
成果に係る評価	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるイベントの中止や移動の自粛等の制限を受ける中、街なかにおける空き地・空き店舗の活用が一定程度図られたことで、街なかの賑わい創出に繋がった。</p> <p>令和4年度以降については、様々な制限が緩和されることが予想され、本事業の活用を更に推進し中心市街地の賑わい創出を図っていく。</p>															
予算の執行状況	(単位：円)															
	予算額	決算額	決算額の財源内訳													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源										
10,453,000	8,485,000				8,485,000											

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第4章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	
	1 項	商工費		第4節	地域資源を活かした観光事業の振興	
	2 目	商工業振興費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する	
担当課	産業部商工課		中事業	中心市街地活性化事業費		
実施計画掲載ページ	P88		事業名	地方創生RPGアプリにおける地域賑わい創出事業		
目的及び事業内容	<p>本市を舞台にした、スマートフォン向けのRPG（ロールプレイングゲーム）アプリを活用し、観光施設や地場産品、史跡や歴史などの地域資源とともに、震災から復興を遂げた本市の姿を国内外へと広く発信する。</p> <p>アプリの内容は、ユーザーがゲームの世界の石巻を旅しながら、本市の民話・産業・史跡・施設・食文化などに触れられる内容とし、また、本市への来訪を誘引するため、市内観光施設等で使用できるクーポンの搭載やGPS通信スポットを設定し、地域経済の活性化を図っていく。</p>					
取組実績	<p>アプリの認知度向上や人気獲得に向けて、各種プロモーションを行った。</p> <p>また、観光客や交流人口の増加に向けて、クーポン協力店舗の公募を行った。</p> <p>1 プロモーション</p> <p>(1) テレビニュース等8件、ラジオ番組2件、新聞記事1件、雑誌5件、動画サイト2件、ウェブサイト記事等3件の掲載があった。</p> <p>(2) 英語対応していることから、イギリス、シンガポール、中国の日本アニメの博覧イベントに取り上げられた。</p> <p>(3) 仙台で行われた本市のPRイベントにおいて、プロモーション動画の放映やチラシの配布を行った。</p> <p>(4) 同じく地方創生RPGアプリを制作している南あわじ市（淡路島RPG）との共同プロモーションとして、以下のとおり実施した。</p> <p>「アプリではじまるキズナ展」 期間：3/26～4/10</p> <p>市役所1階及びかわまち交流センターにて、石巻及び淡路島のRPGポスターや紹介パネルの設置のほか、各地域の観光ガイドブック等も設置した。</p> <p>2 クーポン協力店舗の公募</p> <p>配信開始当初は、観光施設等が中心であったことから、公募を行い、民間12店舗を追加した。（従来の10店舗と併せて合計22店舗で利用が可能）</p>					
成果	<p>令和4年3月末時点での各種数値は以下のとおり。</p> <p>1 ダウンロード数 22,588件</p> <p>2 GPSスポット別押下数（全18か所） 2,625回</p> <p>3 クーポン利用（グッズ提供）数（全22か所） 370回（個）</p> <p>※令和3年9月末まで10か所を10月1日から22か所へ拡大</p>					
成果に係る評価	<p>年度当初は配信開始直後ということもあって、メディア等の取材も多く、好スタートを切ることができたが、徐々に話題性が無くなってきたことから、今後の効果的なプロモーション方法を検討していく必要がある。</p> <p>また、本アプリの制作目的の一つでもある、市民の地域理解の促進や郷土愛の醸成に向けた新たな活用方法を見出ししていく必要がある。</p>					
（単位：円）						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源
	990,000	990,000				990,000

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第4章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	
	1 項	商工費		第3節	魅力的な農林畜産業の振興	
	2 目	商工業振興費		(6)	持続可能な農業経営体を育成する	
担当課	産業部農林課		中事業	地域の宝研究開発事業費		
実施計画掲載ページ	P99		事業名	地域の宝研究開発事業		
目的及び事業内容	<p>本市の特産品となりうる新しい農産物の実証実験や埋もれている農産資源を発掘するための研究開発等を行う。</p> <p>1 東北地方であまり栽培されていないオリーブの栽培実験を行い、栽培技術の習得と生産体制の確立を目指す。</p> <p>2 オリーブ加工施設の活用を図る。</p> <p>3 特産品など地場農産物の販路開拓事業を実施する。</p>					
取組実績	<p>1 新たな果樹「オリーブ」栽培実験</p> <p>(1) 北上地区に1経営体の目標である約1,500本が定植され実証栽培を行った。</p> <p>(2) 先進地より指導者に来ていただき栽培技術とほ場の管理並びにオリーブの搾油と搾油の技術を確認するための指導を実施。</p> <p>(3) 宮城県農業改良普及センターと協力して、栽培暦の作成や土壌調査、現地での病害虫の予防・駆除方法について取り組んだ。</p> <p>(4) 令和3年10月より民間に事業継承しオリーブオイルを製品化した。</p> <p>2 オリーブ加工施設の活用を図る</p> <p>(1) 搾油機械等を活用しオリーブオイルの搾油を実施。</p> <p>3 特産品など地場農産物の販路開拓事業を実施</p> <p>(1) FOOD EX JAPAN2022へパブリカを出展。</p>					
成果	<p>1 新たな果樹「オリーブ」栽培実験</p> <p>(1) 実施した栽培技術と管理作業の指導により、栽培技術や季節ごとの病害虫防除作業の習得ができた。</p> <p>(2) 県農業改良普及センターと協力して、ほ場の土壌の状況や生息する害虫や病気の確認ができ、それらへの対応が図られた。</p> <p>2 オリーブ加工施設の活用を図る</p> <p>(1) 栽培しているオリーブから725.1kg（対前年比139.6%）の果実が収穫された。その中から選果し「石巻産オリーブオイル」約32.6kgが搾油できた。</p> <p>3 特産品など地場農産物の販路開拓事業を実施</p> <p>(1) 商品サンプルとパンフレット等の出品により商談について数件の問い合わせがあった。</p>					
成果に係る評価	<p>1 新たな果樹「オリーブ」栽培実験</p> <p>(1) 河北、北上、雄勝、牡鹿の4地区の収穫量合計は、令和元年度は105.44kg、令和2年度は519.3kg、令和3年度は725.1kgと収穫量が着実に増えているので事業を継続する。</p> <p>2 オリーブ加工施設の活用を図る</p> <p>(1) 高品質オリーブオイルの製造には収穫、選別、加工（搾油）の工程を短時間でを行い、酸化防止することが重要でありオリーブ加工施設は、高品質オリーブオイル製造に欠かせない施設となっている。</p> <p>3 特産品など地場農産物の販路開拓事業を実施</p> <p>(1) 販路開拓により、新たな販売先を確保することは、産地の維持発展に大変重要なことから今後も事業を継続する必要がある。</p>					
（単位：円）						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源
	26,758,000	25,479,654		20,200,000		5,279,654

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第4章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																									
	1 項	商工費		第1節	賑わいと活気にあふれる商工業の振興																									
	2 目	商工業振興費		(1)	事業者への経営支援を行う																									
担当課	産業部商工課		中事業	企業育成支援事業費																										
実施計画掲載ページ	P86		事業名	企業育成支援事業																										
目的及び事業内容	市内既存企業及び進出企業に対して、新たな産業の創出及び雇用促進の効果が期待できる事業として取り組む人材育成、研究開発、情報提供、知的財産取得の各事業への助成金交付を行うことにより、本市の産業振興と雇用の拡大を図る。																													
取組実績	<p>「石巻市産業創造助成金」の交付</p> <p>1 人材育成事業（上限 500,000円） 市内企業の新分野進出等を図るため、従業員の資質・技術力向上のための研修等の費用を助成 ○実績：1件 500,000円</p> <p>2 研究開発事業（上限 2,500,000円） 市内事業者の地域資源の活用、産学連携を図るため、研究開発（共同研究）の費用を助成 ○実績：4件 7,679,873円</p> <p>3 情報提供事業（上限 500,000円） 市内事業者の販路拡大等を図るため、商品見本市、展示商談会等の出店等の費用を助成 ○実績：1件 496,319円</p> <p>4 知的財産等取得事業（上限 500,000円） 市内事業者の高度化等を図るため、商品に係る意匠権や商標権、特許取得等の費用を助成 ○実績：1件 325,565円</p> <p>助成金額合計：9,001,757円</p>																													
成果	新商品の開発や展示会への出展を支援することで、商品の品質向上や新規販路開拓に繋がった。																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値（件数）</th> <th>実績等（件数）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>6 件</td> <td>0 件</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>6 件</td> <td>3 件</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>6 件</td> <td>7 件</td> <td>116%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>6 件</td> <td>11 件</td> <td>183%</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>8 件</td> <td>7 件</td> <td>88%</td> </tr> </tbody> </table>					区分	成果指標		達成率等	目標値（件数）	実績等（件数）	H29	6 件	0 件	0%	H30	6 件	3 件	50%	R1	6 件	7 件	116%	R2	6 件	11 件	183%	R3	8 件	7 件
区分	成果指標		達成率等																											
	目標値（件数）	実績等（件数）																												
H29	6 件	0 件	0%																											
H30	6 件	3 件	50%																											
R1	6 件	7 件	116%																											
R2	6 件	11 件	183%																											
R3	8 件	7 件	88%																											
成果に係る評価	令和3年度は7件の申請があった。令和2年度と比較し、申請件数が減少しているものの、研究開発事業の申請が多く、当初予算を超える申請があり、補正により増額対応した。 新たな産業の創出や雇用促進に有効な事業であり、今後も積極的な制度周知を行い、実績件数の増加に繋げたい。																													
(単位：円)																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
	13,000,000	9,001,757				9,001,757																								

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第4章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																																													
	1 項	商工費		第1節	賑わいと活気にあふれる商工業の振興																																																													
	2 目	商工業振興費		(3)	地域ブランドを育成する																																																													
担当課	産業部商工課		中事業	企業育成支援事業費																																																														
実施計画掲載ページ			事業名	6次産業化・地産地消推進事業																																																														
目的及び事業内容	農林漁業者と地域の様々な事業者との連携を強化し、創意工夫による地域資源の高付加価値化を図るため、1次産業者、2次産業及び3次産業を営む事業者がネットワークを形成して取り組む新商品開発や新ブランドの確立等を図る事業に対して、予算の範囲内において石巻市6次産業化・地産地消推進助成金を交付する。																																																																	
取組実績	<p>6次産業化・地産地消推進助成金の交付 3件 619,195円</p> <p>1 新商品開発事業 新商品開発等のため、試作製造やテスト販売等に対し相談や指導、助言等を行うことにより、6次産業化・地産地消の推進を図る。 助成率：3/4 助成上限額：1市内事業者当たり50万円</p> <p>2 販路開拓事業 販路開拓のため、1事業（ネットワーク構成した市内事業者計2者）に対し、分業・協業による製品化、加工・販売を2次・3次事業者の連携により、新たな販路開拓を行う費用を助成し、6次産業化・地産地消の推進を図る。 助成率：3/4 助成上限額：1市内事業者当たり50万円</p> <p>3 施設整備事業 施設整備のため、建物建築工事、設備取得に係る相談や助言等を行い、6次産業化・地産地消の推進を図る。 助成率：1/2 助成上限額：200万円</p>																																																																	
成果	6次化センターとの連携により、6次産業化や地産地消の推進が図られた。																																																																	
	<p><石巻市6次産業化・地産地消推進助成金 交付実績></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">新商品開発</th> <th colspan="2">販路開拓</th> <th colspan="2">施設整備</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>件数(件)</th> <th>交付金額(円)</th> <th>件数(件)</th> <th>交付金額(円)</th> <th>件数(件)</th> <th>交付金額(円)</th> <th>件数(件)</th> <th>交付金額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>4</td> <td>2,917,973</td> <td>1</td> <td>997,500</td> <td>1</td> <td>1,852,826</td> <td>6</td> <td>5,768,299</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>171,747</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>171,747</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>1</td> <td>800,952</td> <td>3</td> <td>1,136,100</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>1,937,052</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1,000,000</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1,000,000</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>3</td> <td>619,195</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>619,195</td> </tr> </tbody> </table>					区分	新商品開発		販路開拓		施設整備		合計		件数(件)	交付金額(円)	件数(件)	交付金額(円)	件数(件)	交付金額(円)	件数(件)	交付金額(円)	H29	4	2,917,973	1	997,500	1	1,852,826	6	5,768,299	H30	0	0	1	171,747	0	0	1	171,747	R1	1	800,952	3	1,136,100	0	0	4	1,937,052	R2	0	0	1	1,000,000	0	0	1	1,000,000	R3	3	619,195	0	0	0	0	3
区分	新商品開発		販路開拓		施設整備		合計																																																											
	件数(件)	交付金額(円)	件数(件)	交付金額(円)	件数(件)	交付金額(円)	件数(件)	交付金額(円)																																																										
H29	4	2,917,973	1	997,500	1	1,852,826	6	5,768,299																																																										
H30	0	0	1	171,747	0	0	1	171,747																																																										
R1	1	800,952	3	1,136,100	0	0	4	1,937,052																																																										
R2	0	0	1	1,000,000	0	0	1	1,000,000																																																										
R3	3	619,195	0	0	0	0	3	619,195																																																										
成果に係る評価	令和3年度の実績としては新商品開発3件に対して助成金を交付し、令和2年度の実績に比べて2件増加した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって事業者間で面会できる機会が少ないこともあり、申請件数に大幅な伸びはないものの、本助成金を活用した6次産業化支援は着実に実施できている。 令和3年度に本助成金を活用して開発された商品については、道の駅での販売額が売上目標を大きく超える事例や関東大手企業の株主優待商品として販売されている事例が報告されていることから、1次事業者の所得向上・事業者間の連携強化・地場産品の販売促進など、本助成金による効果は非常に高く、今後も継続して活用推進を図っていきたい。																																																																	
(単位：円)																																																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																												
	4,000,000	619,195				619,195																																																												

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第4章 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																																																									
	1 項	商工費		第1節 賑わいと活気にあふれる商工業の振興																																																																									
	2 目	商工業振興費		(3) 地域ブランドを育成する																																																																									
担当課		産業部商工課	中事業		企業育成支援事業費																																																																								
実施計画掲載ページ			事業名		6次産業化推進事業																																																																								
目的及び事業内容		地域資源を活用した商品開発、ブランド力向上及び販路拡大を推進するため、6次産業化の担い手となる人材育成と事業化支援を行うことにより、1次産業事業者の経営多角化及び所得向上並びに地場産業の振興を推進するため、「石巻市6次産業化・地産地消推進センター」の運営を委託する。 センターにおいては6次産業化に取組む人材育成のため、セミナー等を実施するとともに、6次産業化に取り組み事業者に対し、個別相談や相談の内容に応じた専門家の派遣等、必要な支援を実施する。																																																																											
取組実績		<p>1 6次産業化推進業務委託料 27,763,140円</p> <p>2 令和3年度はセンターにおいて以下の事業を実施した。</p> <p>(1) 事業化支援</p> <p>ア 商品開発支援 支援員派遣等により、マーケティング調査やテスト販売、アドバイスを実施し、11件の商品化をすることができた。 また、販路開拓支援については、新規販路獲得件数15件となった。</p> <p>イ 総合支援 相談受付件数733件のうち6次産業化関連は60事業者から657件であった。</p> <p>(2) イベント・プロモーションの取組</p> <p>ア 人材育成支援 仙台の地産地消市場・WEBショップのバイヤーを講師に迎え、セミナーを開催した。 23者が参加し、WEBショップ売上強化の考え方について学ぶ機会を創出した。</p> <p>イ 販売促進・販路開拓支援 人材育成支援事業の参加者の中から、WEBショップに出店を希望する事業者を対象にした商談会を開催するとともに、講師（バイヤー）との商談を行い、参加した7者全員の商品がWEBショップに掲載された。</p>																																																																											
成果		<p>センター事業の実施により、6次産業化の進捗が図られた。</p> <p>【セミナー（講演会・ワークショップ等）及び視察の開催結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>開催回数</th> <th>目標参加者数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>3回</td> <td>45人</td> <td>66人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>1回</td> <td>15人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>1回</td> <td>15人</td> <td>23人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【センター事業の成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">相談受付件数</th> <th colspan="2">支援事業者数</th> <th colspan="2">総合化事業計画認定件数</th> <th colspan="2">商品開発件数</th> <th colspan="2">販路開拓件数</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>実績</th> <th>実績</th> <th>実績</th> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>248件</td> <td>11者</td> <td>2件</td> <td>0件</td> <td>5件</td> <td>21件</td> <td>10件</td> <td>15件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>281件</td> <td>24者</td> <td>2件</td> <td>0件</td> <td>5件</td> <td>15件</td> <td>10件</td> <td>36件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>733件</td> <td>60者</td> <td>2件</td> <td>0件</td> <td>5件</td> <td>11件</td> <td>10件</td> <td>15件</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						区分	開催回数	目標参加者数	参加者数	R1	3回	45人	66人	R2	1回	15人	15人	R3	1回	15人	23人	区分	相談受付件数		支援事業者数		総合化事業計画認定件数		商品開発件数		販路開拓件数		実績	実績	実績	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	R1	248件	11者	2件	0件	5件	21件	10件	15件			R2	281件	24者	2件	0件	5件	15件	10件	36件			R3	733件	60者	2件	0件	5件	11件	10件	15件		
区分	開催回数	目標参加者数	参加者数																																																																										
R1	3回	45人	66人																																																																										
R2	1回	15人	15人																																																																										
R3	1回	15人	23人																																																																										
区分	相談受付件数		支援事業者数		総合化事業計画認定件数		商品開発件数		販路開拓件数																																																																				
	実績	実績	実績	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績																																																																			
R1	248件	11者	2件	0件	5件	21件	10件	15件																																																																					
R2	281件	24者	2件	0件	5件	15件	10件	36件																																																																					
R3	733件	60者	2件	0件	5件	11件	10件	15件																																																																					
成果に係る評価		6次産業化に関する事業者からの相談件数は令和2年度より増加しており、6次産業化に関心を持つ事業者は増加傾向にある。また、商品開発や販路開拓の実績については、令和2年度よりも減少したものの、目標以上の件数となっている。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により事業形態は多様化しており、今後も事業者ニーズに寄り添った支援を継続していく必要がある。																																																																											
(単位：円)																																																																													
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																									
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																						
		29,972,000	27,763,140			27,763,140																																																																							

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第4章 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																					
	1 項	商工費		第1節 賑わいと活気にあふれる商工業の振興																																					
	2 目	商工業振興費		(1) 事業者への経営支援を行う																																					
担当課		産業部商工課	中事業		中小企業等融資関係費																																				
実施計画掲載ページ		P86	事業名		融資あっせん制度事業																																				
目的及び事業内容		事業資金を必要とする中小企業事業者への経済対策として、制度融資を実施するもの。 市が預託する資金を元に、金融機関では預託金額の10倍（小企業小口融資は5倍）の融資枠を設定するとともに、市は融資保証料を50%（小企業小口融資は100%）補給することにより、安定した事業運営を支援している。また、令和3年度から大規模災害発生時に迅速に融資実行できる「災害対応資金」を創設した。 災害関連利子補給制度では、災害関連融資について、3年間の利子補給を実施する。																																							
取組実績		<p>金融機関に預託金を差し入れるとともに、保証料及び利子の補給、損失補償金を支出した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>預託額(円)</th> <th>保証料補給(円)</th> <th>利子補給(円)</th> <th>損失補償金(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中小企業融資(一般)</td> <td>166,000,000</td> <td>5,119,274</td> <td>—</td> <td>321,573</td> </tr> <tr> <td>中小企業融資(災害関連)</td> <td>472,000,000</td> <td>150,242</td> <td>65,036,661</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>小企業小口融資</td> <td>10,000,000</td> <td>12,780</td> <td>—</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>中小企業災害等資金利子補給金</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>4,865,736</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>648,000,000</td> <td>5,282,296</td> <td>69,902,397</td> <td>321,573</td> </tr> </tbody> </table> <p>※中小企業融資（災害関連）は令和2年度で終了 ※災害対応資金は、発動がなかったため100,000,000円は未預託</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">総合計(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>723,506,266</td> </tr> </tbody> </table>						区分	預託額(円)	保証料補給(円)	利子補給(円)	損失補償金(円)	中小企業融資(一般)	166,000,000	5,119,274	—	321,573	中小企業融資(災害関連)	472,000,000	150,242	65,036,661	0	小企業小口融資	10,000,000	12,780	—	0	中小企業災害等資金利子補給金	—	—	4,865,736	—	合計	648,000,000	5,282,296	69,902,397	321,573	総合計(円)			723,506,266
区分	預託額(円)	保証料補給(円)	利子補給(円)	損失補償金(円)																																					
中小企業融資(一般)	166,000,000	5,119,274	—	321,573																																					
中小企業融資(災害関連)	472,000,000	150,242	65,036,661	0																																					
小企業小口融資	10,000,000	12,780	—	0																																					
中小企業災害等資金利子補給金	—	—	4,865,736	—																																					
合計	648,000,000	5,282,296	69,902,397	321,573																																					
総合計(円)																																									
	723,506,266																																								
成果		<p>上記事業の実施により、市内中小企業の経営の維持安定及び振興発展が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">融資条件</th> <th rowspan="2">融資枠(千円)</th> <th colspan="2">融資状況</th> <th colspan="2">債務残高</th> </tr> <tr> <th>件数(件)</th> <th>金額(千円)</th> <th>件数(件)</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中小企業融資(一般)</td> <td>(1)限度額:2,000万円 (2)期間:運転7年、設備10年、併用7年(据置期間1年以内) (3)利率:年1.9%(1年以内1.5%) (4)保証料補給:信用保証料50%</td> <td>6,380,000</td> <td>45</td> <td>289,811</td> <td>206</td> <td>826,587</td> </tr> <tr> <td>中小企業融資(災害関連)</td> <td>(1)限度額:1,000万円 (2)期間:10年(据置期間2年以内) (3)利率:年1.5% (4)保証料補給:信用保証料50% (5)利子補給:利子100%(3年に限る)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>411</td> <td>3,535,160</td> </tr> <tr> <td>小企業小口融資</td> <td>(1)限度額:350万円 (2)期間:運転5年、設備7年、併用5年(据置期間6か月以内) (3)利率:年1.85%(1年以内1.45%) (4)保証料補給:信用保証料100%</td> <td>50,000</td> <td>1</td> <td>1,000</td> <td>4</td> <td>3,414</td> </tr> </tbody> </table>						区分	融資条件	融資枠(千円)	融資状況		債務残高		件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)	中小企業融資(一般)	(1)限度額:2,000万円 (2)期間:運転7年、設備10年、併用7年(据置期間1年以内) (3)利率:年1.9%(1年以内1.5%) (4)保証料補給:信用保証料50%	6,380,000	45	289,811	206	826,587	中小企業融資(災害関連)	(1)限度額:1,000万円 (2)期間:10年(据置期間2年以内) (3)利率:年1.5% (4)保証料補給:信用保証料50% (5)利子補給:利子100%(3年に限る)				411	3,535,160	小企業小口融資	(1)限度額:350万円 (2)期間:運転5年、設備7年、併用5年(据置期間6か月以内) (3)利率:年1.85%(1年以内1.45%) (4)保証料補給:信用保証料100%	50,000	1	1,000	4	3,414		
区分	融資条件	融資枠(千円)	融資状況		債務残高																																				
			件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)																																			
中小企業融資(一般)	(1)限度額:2,000万円 (2)期間:運転7年、設備10年、併用7年(据置期間1年以内) (3)利率:年1.9%(1年以内1.5%) (4)保証料補給:信用保証料50%	6,380,000	45	289,811	206	826,587																																			
中小企業融資(災害関連)	(1)限度額:1,000万円 (2)期間:10年(据置期間2年以内) (3)利率:年1.5% (4)保証料補給:信用保証料50% (5)利子補給:利子100%(3年に限る)				411	3,535,160																																			
小企業小口融資	(1)限度額:350万円 (2)期間:運転5年、設備7年、併用5年(据置期間6か月以内) (3)利率:年1.85%(1年以内1.45%) (4)保証料補給:信用保証料100%	50,000	1	1,000	4	3,414																																			
成果に係る評価		令和3年度の融資実績は、中小企業融資（一般）が45件、小企業小口融資が1件、新たに創設した災害対応資金の発動はなかった。 令和2年度に16件だった中小企業融資（一般）の利用は45件と大幅に増加しているが、令和2年度で災害関連枠が終了したことに伴うものと思慮される。 今後も市内中小企業の実情に鑑み、条件等を検討しながら、引き続き事業を継続していく必要がある。																																							
(単位：円)																																									
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																					
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																		
		860,321,200	723,506,266	86,922		717,437,853	5,981,491																																		

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第4章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち
	1 項	商工費		第4節	地域資源を活かした観光事業の振興
	2 目	商工業振興費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する
担当課	産業部産業推進課		中 事 業	リボンアートフェスティバル開催支援事業費	
実施計画掲載ページ	P86		事 業 名	リボンアートフェスティバル開催支援事業	
目的及び事業内容	市内中心部及び牡鹿半島を主会場として「地域振興／復興につながる循環」を目的として開催される「アート」・「音楽」・「食」の総合芸術祭「Reborn-Art Festival」の開催支援を行うことで交流人口・関係人口の拡大を図る。				
取組実績	<p>これまで2回の本祭を開催し、令和3年度に3回目の本祭を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、Reborn-Art Festival2021-22として令和3年度と令和4年度の2回に分散して、3回目の本祭を開催することとなった。令和3年度の会期は令和3年8月11日～9月26日、会期中に緊急事態宣言発令やまん延防止重点措置区域への指定があったが、感染拡大防止対策を徹底しながら、感染者を出すことなく会期を全うした。</p> <p>1 アート部門 アート作品は23組25作品が石巻市街地及び牡鹿半島（桃浦、荻浜、鮎川）、女川町に設置（うち3作品が女川町に設置）されたほか、常設展示作品も合わせて公開された。</p> <p>2 音楽部門 マルホンまきあーとテラスでは、ライブイベント「ワン・バイ・ワン・プラス ～10年目のフレームより～」が開催された。新型コロナの影響により定員を限定しつつ、オンラインでの有料配信も行った。</p> <p>3 食部門 全国の有名シェフと地元料理人によるセッションディナーや、夜市等を開催して地元食材を使った料理を提供し、本市の食の魅力をPRした。しかし、新型コロナによる緊急事態宣言発令等によりイベントの一部を中止したほか、テイクアウト対応とするなど内容を変更して対応した。</p>				
成 果	会期中の延べ来場者数は約10万人、経済波及効果は6億4,140万円であった。会期中以外でも鑑賞可能な常設展示作品も増えていることで、年間を通じた観光客の誘客等、交流人口の増加が図られた。				
成果に係る評価	令和3年度の延べ来場者数は、過去の延べ来場者数（平成29年度が約26万人、令和元年度が約44万人）と比較すると少なくなったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により県外からの来場者が減少したことや、大規模な音楽イベントができなかったことなどが要因である。今後も本市の交流人口の増加に寄与することから、事業を継続する必要がある。				
(単位：円)					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他
	39,084,000	39,008,160			39,000,000

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第4章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																																				
	1 項	商工費		第4節	地域資源を活かした観光事業の振興																																																				
	3 目	観光費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する																																																				
担当課	産業部観光課		中 事 業	観光振興事業費																																																					
実施計画掲載ページ	P90		事 業 名	まつりイベント事業																																																					
目的及び事業内容	各種祭りイベントの開催を支援することにより、地場産業の振興、地域伝統文化の継承保存及び地域住民の融和とコミュニティの形成による地域活性化を図る。あわせて、交流人口の増加による地域経済の活性化を推進する。																																																								
取組実績	各種まつりイベント実行委員会に対して補助金・負担金を交付し、事業の実施に当たっては実行委員会等への支援を行った。																																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>イベント名称</th> <th>開催日等</th> <th>入込数(人)</th> <th>補助金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サン・ファン祭り</td> <td>10/31</td> <td>55人</td> <td>400,000円</td> </tr> <tr> <td>石巻川開き祭り</td> <td>8/21</td> <td>35人</td> <td>3,900,000円</td> </tr> <tr> <td>牡鹿鯨まつり</td> <td>中止</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>サマーフェスティンかほく</td> <td>中止</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>サン・ファン渡波市民祭り</td> <td>中止</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ものうふれあい祭り</td> <td>中止</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>かほく産業まつり</td> <td>中止</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>かなん市民まつり</td> <td>中止</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>雄勝海鮮市まつり</td> <td>8回開催</td> <td>12,400人</td> <td>1,800,000円</td> </tr> <tr> <td>にっこり歳の市</td> <td>12/19</td> <td>2,700人</td> <td>1,000,000円</td> </tr> <tr> <td>にっこり写真セミナー</td> <td>11/1～12/27</td> <td>-</td> <td>700,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>15,190人</td> <td>7,800,000円</td> </tr> </tbody> </table>					イベント名称	開催日等	入込数(人)	補助金	サン・ファン祭り	10/31	55人	400,000円	石巻川開き祭り	8/21	35人	3,900,000円	牡鹿鯨まつり	中止	-	-	サマーフェスティンかほく	中止	-	-	サン・ファン渡波市民祭り	中止	-	-	ものうふれあい祭り	中止	-	-	かほく産業まつり	中止	-	-	かなん市民まつり	中止	-	-	雄勝海鮮市まつり	8回開催	12,400人	1,800,000円	にっこり歳の市	12/19	2,700人	1,000,000円	にっこり写真セミナー	11/1～12/27	-	700,000円	計		15,190人	7,800,000円
	イベント名称	開催日等	入込数(人)	補助金																																																					
	サン・ファン祭り	10/31	55人	400,000円																																																					
	石巻川開き祭り	8/21	35人	3,900,000円																																																					
	牡鹿鯨まつり	中止	-	-																																																					
	サマーフェスティンかほく	中止	-	-																																																					
	サン・ファン渡波市民祭り	中止	-	-																																																					
	ものうふれあい祭り	中止	-	-																																																					
	かほく産業まつり	中止	-	-																																																					
かなん市民まつり	中止	-	-																																																						
雄勝海鮮市まつり	8回開催	12,400人	1,800,000円																																																						
にっこり歳の市	12/19	2,700人	1,000,000円																																																						
にっこり写真セミナー	11/1～12/27	-	700,000円																																																						
計		15,190人	7,800,000円																																																						
令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で各種まつりの中止が相次いだ。川開き鼓笛隊の動画配信やサンファン祭りでは花火のオンライン配信など、コロナ過での工夫を凝らした事業も行われた。																																																									
成 果																																																									
成果に係る評価	令和2年度同様、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各種イベント・祭りが中止になった他、全国的な外出自粛の影響を大きく受けた。今後はコロナ過でも安心して楽しめるイベント開催を検討し、地域のにぎわい創出、交流人口拡大のため継続した支援が必要と考える。																																																								
(単位：円)																																																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																			
	7,800,000	7,800,000			3,900,000	3,900,000																																																			

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章													
	1 項	商工費		第 節													
	3 目	観光費		()													
担当課	産業部観光課		中 事 業	観光振興事業費													
実施計画掲載ページ			事 業 名	観光PR事業													
目的及び事業内容	<p>新鮮な海産物に代表される四季折々の食材や美しい自然など、本市の豊富な観光資源を積極的に情報提供することで、誘客を促進し、観光客の入込数の増加と地域経済の活性化を図る。</p>																
取組実績	<p>1 いしのまき 石巻市観光ガイドブックの作成（日本語版） 35,000部 令和3年度観光PR用ポスターの作成 250部×4種=1,000部 2 仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会、三陸復興国立公園協会等において、県内・県外の関係機関と連携を図り、パンフレットやポスター、HPの作成など、誘客PRを行った。 3 日和山公園の桜の開花にあわせ、駐車場誘導員の配置など来園者への対応を行った。 期間：令和3年4月3日～4月11日（9日間）、入込者数：8,900人 4 石巻～仙台間運行の高速バスへ、マンガ素材のラッピングを行い観光PRを継続実施した。 運行便数：1日8便、1日当たりのラッピングバス乗車人数：約130人（年間約47,450人） 5 仙石東北ラインの車両にマンガ素材のラッピングを施し、観光PRを実施した。 車両数：仙石東北ライン 2編成4車両 6 インバウンド対応 (1) 多言語観光案内板を河北地区、河南地区及び桃生地区に整備した。 総合案内板 3基、施設名板 1基、車両誘導版 24基 (2) 国際交流員を配置し、翻訳・通訳などインバウンド誘客の推進を図った。 (3) 宮城県国際観光テーマ地区推進協議会と連携し、台湾で行われた日本東北遊楽日において、石巻市観光ガイドブック（繁体字版）及びノベルティ配布を依頼し本市のPRを行った。 日本東北遊楽日（開催場所：台北市） 開催日：3月5日～6日 入込数：約7,5000人 7 食彩・感動いしのまき観光推進協議会で、食イベント「いしのまき じもとメシ2021」を実施した。 開催期間：令和3年10月1日～12月26日 参加店舗数：地産地消推進店75店舗 8 観光並びに物産振興を推進している一般社団法人石巻観光協会に対し、事業費及び運営費の一部を補助し、地域間交流事業など観光宣伝事業を展開した。 9 いしのまき観光大使や観光課SNSアカウントを活用し、他地域への観光PR及びイメージアップを図った。 10 半島沿岸部をルートとしたみちのく潮風トレイル利用促進のため、自然歩道を管理し、観光振興及び交流人口の増加を図った。</p>																
成 果	<ul style="list-style-type: none"> 市内の観光資源の積極的な情報提供を図る多言語観光案内板の整備事業が完成した。 石巻観光協会や石巻圏観光推進機構等の関係団体と連携して観光PRを行い誘客の促進を図った。 各種イベントへの参加及び地域間交流事業を活用し、観光PRに合わせて地場産品の紹介宣伝を行うとともに、市内で開催するイベント紹介など観光宣伝事業を展開して観光・物産の振興を図った。 国内のイベント以外に台湾での観光PRを行い、誘客の促進を図った。 観光課FacebookとInstagramの各フォロワー数が増加し、誘客の促進が図られた。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>SNS名</th> <th>R1年度当初フォロワー数</th> <th>R3年度現在フォロワー数</th> <th>増加数（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Facebook</td> <td>3,232</td> <td>3,394</td> <td>162</td> </tr> <tr> <td>Instagram</td> <td>675</td> <td>1,496</td> <td>821</td> </tr> </tbody> </table>					SNS名	R1年度当初フォロワー数	R3年度現在フォロワー数	増加数（人）	Facebook	3,232	3,394	162	Instagram	675	1,496	821
SNS名	R1年度当初フォロワー数	R3年度現在フォロワー数	増加数（人）														
Facebook	3,232	3,394	162														
Instagram	675	1,496	821														
成果に係る評価	<p>本事業により、観光PRを通じて石巻市の知名度を向上させることは本市の産業振興にもつながるため、今後も継続的に実施し、地域産業の活性化を推進していきたい。 インバウンドについては、新型コロナウイルス感染症の影響に収束の兆しが見え始めたため、SNS等を活用して、国外需要の回復や国内需要の取り込みを企図した情報発信に注力し、また新規にオープンした施設の活用など鮮度の高い情報で地域の独自色を出し、他地域との差別化を推進することで誘客の促進を図っていく。 また、関係団体、事業者と連携し、ポストコロナやウィズコロナにおける利用者のニーズ、新しい生活様式に対応した安心・安全な観光PRが必要であり、本事業を通して、SNSやガイドブック、観光大使の活用など、状況に合わせた効果的な情報発信に継続的に取り組む必要がある。</p>																
（単位：円）																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳														
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源											
	50,656,988	48,622,442	8,222,500		7,900,000	32,499,942											

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																					
	1 項	商工費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興																					
	3 目	観光費		(2)	観光振興体制を構築する																					
担当課	産業部観光課		中 事 業	観光振興事業費																						
実施計画掲載ページ	P92		事 業 名	石巻観光ボランティア支援事業																						
目的及び事業内容	<p>「震災まなびの案内」、石巻地域の歴史・文化等を案内する取組により、被災地を訪れる方々に震災伝承、防災学習の意義を伝える活動及び、駅頭案内や各観光イベント時のガイドなどを実施している石巻観光ボランティア協会に対する活動費を補助し、円滑な活動の促進を図る。</p>																									
取組実績	<p>震災後、激増している来訪者の対応等で負担が大きい石巻観光ボランティア協会に対し、研修等のための活動費を補助した。</p> <p>1 研修会関係 令和3年4月27日：会員研修「まち歩き 日和山」（日和山） 令和3年6月14日：石巻歴史研修「いしのまき歴史散歩」～令和4年3月まで8回実施（かわまち交流センター） 令和4年1月17日：会員研修「石巻市長と語る観光政策について」（大もりや） 令和4年3月7日：会員研修「震災遺構」・「津波避難タワー」見学（門脇小学校・魚町3丁目）</p> <p>2 ボランティアガイド関係 令和3年6月6日：i感謝博JR石巻駅ホーム出迎え（JR石巻駅） 令和3年6月12日：石巻サンセットクルーズモニターツアー（石巻港内） 令和3年7月12日：マンガモニュメント清掃作業（マンガロード周辺） 令和3年10月18日：「石巻百科」編集作業～令和4年3月まで8回実施（かわまち交流センター） 令和3年10月24日：みやぎ東日本大震災津波伝承館と市震災遺構大川小学校モニターツアー（みやぎ東日本大震災津波伝承館・大川小学校） 令和3年10月24日～25日：SAVOR JAPAN現地視察同行案内（牡鹿・雄勝地区） 令和3年11月3日：みやぎ東日本大震災津波伝承館と防災学習「ツナミリアル」（みやぎ東日本大震災津波伝承館） 令和4年2月19日～20日：JR「風っ子ストープ女川号」車内案内・駅歓迎（JR石巻線車内、JR石巻駅）</p>																									
成 果	<p>○大震災学びの案内 活動実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>バス台数（うち学校）</th> <th>参加人数（うち学校）</th> <th>オンライン人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>447台（29台）</td> <td>8,052人（1,199人）</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>403台（22台）</td> <td>7,463人（819人）</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>315台（23台）</td> <td>5,730人（636人）</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>68台（12台）</td> <td>969人（664人）</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>99台（24台）</td> <td>1,522人（1,249人）</td> <td>253人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※（一社）石巻観光協会令和4年度通常総会資料より</p>						バス台数（うち学校）	参加人数（うち学校）	オンライン人数	H29	447台（29台）	8,052人（1,199人）	/	H30	403台（22台）	7,463人（819人）	R1	315台（23台）	5,730人（636人）	R2	68台（12台）	969人（664人）	R3	99台（24台）	1,522人（1,249人）	253人
	バス台数（うち学校）	参加人数（うち学校）	オンライン人数																							
H29	447台（29台）	8,052人（1,199人）	/																							
H30	403台（22台）	7,463人（819人）																								
R1	315台（23台）	5,730人（636人）																								
R2	68台（12台）	969人（664人）																								
R3	99台（24台）	1,522人（1,249人）		253人																						
成果に係る評価	<p>「大震災学びの案内」の利用者は、開始以来のべ13万人を超える全国からの来訪者を案内している。平成24年度をピークに以降は年々減少しており、令和元年度、2年度と新型コロナウイルス感染症拡大の影響から大幅に落ち込んだが、令和3年度については新型コロナウイルス感染症の感染が落ち着いたことから、前年度比157%となった。また、オンラインでの案内も開始し活動の幅を広げている。 石巻観光ボランティア協会は「震災まなびの案内」等、震災伝承に係る取組みの実施について数少ない受入団体であることや、震災の教訓を次の世代に継承し、風化させないためにも本団体の存在は重要であり、今後も研修の実施により会員の技能向上に努め、「震災まなびの案内」の内容をアップデートすることで、参加人数の増加に取り組むこととしたい。</p>																									
（単位：円）																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																				
	500,000	500,000				500,000																				

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章																								
	1 項	商工費		第 節																								
	3 目	観光費		()																								
担当課	産業部観光課		中 事 業	石ノ森萬画館管理運営費																								
実施計画掲載ページ			事 業 名	石ノ森萬画館運営事業																								
目的及び事業内容	街づくりまんぼうへの指定管理により、石ノ森萬画館の適正な維持管理を図るとともに、マンガ文化及び地域文化を発信し、誘客の促進と市内外の人々との交流促進を図り、市における文化の発展と地域経済の振興に寄与する。																											
取組実績	1 指定管理者 株式会社街づくりまんぼう 2 指定管理料 71,500,000円（新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響額補填16,500,000円含む） 3 指定管理期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日 4 事業内容 (1) 常設展示 ・石ノ森バイオグラフィ、サイボーグ009の世界、仮面ライダーの世界 など (2) 特別企画展																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>企画展名</th> <th>開催期間</th> <th>延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>少年アシベ展～森下裕美の世界～</td> <td>R3/3/20～5/30</td> <td>5,811人</td> </tr> <tr> <td>石ノ森章太郎マンガとアニメ展</td> <td>6/12～9/20</td> <td>15,302人</td> </tr> <tr> <td>ドロヘドロ原画展～林田球の世界～</td> <td>10/2～R4/1/10</td> <td>16,228人</td> </tr> <tr> <td>姫川明原画展-マンガ「ゼルダの伝説」をふりかえる-</td> <td>R4/1/22～4/10</td> <td>5,471人</td> </tr> </tbody> </table> R3年度のみ的人数 R3年度のみ的人数					企画展名	開催期間	延べ人数	少年アシベ展～森下裕美の世界～	R3/3/20～5/30	5,811人	石ノ森章太郎マンガとアニメ展	6/12～9/20	15,302人	ドロヘドロ原画展～林田球の世界～	10/2～R4/1/10	16,228人	姫川明原画展-マンガ「ゼルダの伝説」をふりかえる-	R4/1/22～4/10	5,471人								
企画展名	開催期間	延べ人数																										
少年アシベ展～森下裕美の世界～	R3/3/20～5/30	5,811人																										
石ノ森章太郎マンガとアニメ展	6/12～9/20	15,302人																										
ドロヘドロ原画展～林田球の世界～	10/2～R4/1/10	16,228人																										
姫川明原画展-マンガ「ゼルダの伝説」をふりかえる-	R4/1/22～4/10	5,471人																										
成 果	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により入館者が大幅に減少したが、石ノ森萬画館の適正な維持管理を図るとともに、マンガ文化及び地域文化を発信することに努めた。																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数</th> <th>うち有料入場者数</th> <th>入館料等収入</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>175,351人</td> <td>83,790人</td> <td>65,402,569円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>190,020人</td> <td>91,178人</td> <td>69,946,912円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>214,838人</td> <td>102,314人</td> <td>78,222,053円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>64,871人</td> <td>37,304人</td> <td>29,173,857円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>84,654人</td> <td>44,744人</td> <td>36,411,060円</td> </tr> </tbody> </table>					年度	利用者数	うち有料入場者数	入館料等収入	H29	175,351人	83,790人	65,402,569円	H30	190,020人	91,178人	69,946,912円	R1	214,838人	102,314人	78,222,053円	R2	64,871人	37,304人	29,173,857円	R3	84,654人	44,744人
年度	利用者数	うち有料入場者数	入館料等収入																									
H29	175,351人	83,790人	65,402,569円																									
H30	190,020人	91,178人	69,946,912円																									
R1	214,838人	102,314人	78,222,053円																									
R2	64,871人	37,304人	29,173,857円																									
R3	84,654人	44,744人	36,411,060円																									
成果に係る評価	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けており、前年度より入館者数・入館料は回復傾向にあるものの、コロナ禍前の水準までは戻らなかった。年度内に4つの企画展を開催し集客回復に努め、まきあーとテラスで実施された「アニメージュとジブリ展」からの誘客も図り、周知活動を積極的に実施した他、各種ガイドラインに合わせてイベントも徐々に実施していった。 引き続き新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、コロナ禍における新しい生活様式に対応したイベント実施を考え、集客を回復できるよう指定管理者へ働きかけていく。																											
(単位：円)																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																						
	86,749,000	86,740,624	8,300,000			78,440,624																						

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																																																						
	1 項	商工費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興																																																																						
	3 目	観光費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する																																																																						
担当課	産業部観光課		中 事 業	マンガアイランド管理運営費																																																																							
実施計画掲載ページ			事 業 名	マンガアイランド管理運営事業																																																																							
目的及び事業内容	田代島の豊かな自然環境に親しみ、マンガとふれあう場を設けることにより、市民の自然と文化への理解を深め、心身の健康を推進するとともに、住民と来訪者との交流による島の活性化を図ることを目的とする。																																																																										
取組実績	1 マンガアイランド利用実績 内訳																																																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">マンガロッジ</th> <th colspan="2">テントサイト</th> <th colspan="3">合計</th> <th rowspan="2">使用料(円)</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>延べ人数</th> <th>利用件数</th> <th>人数</th> <th>延べ人数</th> <th>利用件数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>393</td> <td>468</td> <td>149</td> <td>70</td> <td>83</td> <td>30</td> <td>463</td> <td>551</td> <td>179</td> <td>1,466,700</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>296</td> <td>350</td> <td>110</td> <td>55</td> <td>69</td> <td>33</td> <td>351</td> <td>419</td> <td>143</td> <td>1,134,050</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>658</td> <td>763</td> <td>237</td> <td>177</td> <td>180</td> <td>84</td> <td>835</td> <td>943</td> <td>321</td> <td>2,534,230</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>444</td> <td>514</td> <td>137</td> <td>65</td> <td>69</td> <td>35</td> <td>509</td> <td>583</td> <td>172</td> <td>1,591,630</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>409</td> <td>461</td> <td>133</td> <td>68</td> <td>78</td> <td>44</td> <td>477</td> <td>539</td> <td>177</td> <td>1,599,444</td> </tr> </tbody> </table>					年度	マンガロッジ		テントサイト		合計			使用料(円)	人数	延べ人数	利用件数	人数	延べ人数	利用件数	人数	H29	393	468	149	70	83	30	463	551	179	1,466,700	H30	296	350	110	55	69	33	351	419	143	1,134,050	R1	658	763	237	177	180	84	835	943	321	2,534,230	R2	444	514	137	65	69	35	509	583	172	1,591,630	R3	409	461	133	68	78	44	477	539	177
年度	マンガロッジ		テントサイト		合計			使用料(円)																																																																			
	人数	延べ人数	利用件数	人数	延べ人数	利用件数	人数																																																																				
H29	393	468	149	70	83	30	463	551	179	1,466,700																																																																	
H30	296	350	110	55	69	33	351	419	143	1,134,050																																																																	
R1	658	763	237	177	180	84	835	943	321	2,534,230																																																																	
R2	444	514	137	65	69	35	509	583	172	1,591,630																																																																	
R3	409	461	133	68	78	44	477	539	177	1,599,444																																																																	
成 果	2 備品等貸出件数 内訳																																																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>利用件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マウンテンバイク(大人用)</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>マウンテンバイク(小人用)</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>電動自転車</td> <td>431</td> </tr> <tr> <td>釣竿</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>天体望遠鏡</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>580</td> </tr> </tbody> </table>					種類	利用件数	マウンテンバイク(大人用)	80	マウンテンバイク(小人用)	16	電動自転車	431	釣竿	47	天体望遠鏡	6	合 計	580																																																								
種類	利用件数																																																																										
マウンテンバイク(大人用)	80																																																																										
マウンテンバイク(小人用)	16																																																																										
電動自転車	431																																																																										
釣竿	47																																																																										
天体望遠鏡	6																																																																										
合 計	580																																																																										
成 果	まん延防止等重点措置が宮城県内に発せられたことにより、開館が5月13日からとなったことに加え、宿泊者を東北地方在住者に限定したことなどにより、前年度同様使用料収入が回復しなかった。しかしながら、日帰り客の施設利用が増加し、特に電動自転車の利用が1.09倍増加となった。インターネットによる予約も定着し、利用者の利便性が図られていることに加え、施設の広報宣伝を行ったことにより、開館日数は例年よりも少なかったものの、全期間開館していた平成29年度よりも使用料収入が増加する結果を維持している。																																																																										
成果に係る評価	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け過去2年間は営業期間の変動があり、宿泊利用者数の伸びが鈍いが、電動自転車を中心として日帰り利用者の数が増加しており、周知広報の成果が見え始めている。宮城県外からの問い合わせや日本在住の外国人の利用も見られ、マンガアイランド及び田代島に対する関心の高さが伺えるため、アフターコロナ・ウィズコロナの情勢を踏まえながら、宿泊客数も増加するよう引き続き情報発信を行っていく。																																																																										
(単位：円)																																																																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																					
	14,980,283	14,942,515			1,599,444	13,343,071																																																																					

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章																		
	1 項	商工費		第 節																		
	3 目	観光費		()																		
担当課	産業部観光課		中 事 業	サン・ファン・パウティスタパーク管理運営費																		
実施計画掲載ページ			事 業 名	サン・ファン・パウティスタパーク管理事業																		
目的及び事業内容	サン・ファン・パウティスタパークの適正な維持管理を図るとともに、市民の文化活動の向上と憩いの場を提供し、さらに観光拠点として地域活性化及び地域振興の推進に寄与する。																					
取組実績	1 指定管理者 公益財団法人慶長遣欧使節船協会 2 指定管理料 40,000,000円 3 指定管理期間 平成31年4月1日～令和4年3月31日 4 事業内容 (1)各種設備機器保安・保守業務 (2)パーク内行為許可業務 (3)観光情報の提供 5 利用者数 (人)																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パーク来園者数</td> <td>86,094</td> <td>86,644</td> <td>85,553</td> <td>73,696</td> <td>49,062</td> </tr> <tr> <td>サン・ファン館入館者数</td> <td>31,886</td> <td>32,544</td> <td>31,188</td> <td>27,291</td> <td>14,234</td> </tr> </tbody> </table>					年度	H29	H30	R1	R2	R3	パーク来園者数	86,094	86,644	85,553	73,696	49,062	サン・ファン館入館者数	31,886	32,544	31,188	27,291
年度	H29	H30	R1	R2	R3																	
パーク来園者数	86,094	86,644	85,553	73,696	49,062																	
サン・ファン館入館者数	31,886	32,544	31,188	27,291	14,234																	
成 果	隣接する宮城県慶長使節船ミュージアム（サン・ファン館）との一体的な管理運営により、相互の施設の魅力や集客力の向上を効率的に実施し、安定した管理運営が図られた。また、民間主催の各種イベント会場としての貸出については、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、例年実施していたイベントの大半が中止となった。 ○サン・ファン・パウティスタパークを会場とした主なイベント <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>開催日</th> <th>来場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サン・ファン祭り</td> <td>10/31</td> <td>オンライン配信のみ</td> </tr> <tr> <td>石巻JC企画ウッドレジンワークショップ(サン・ファン祭り同時開催)</td> <td>10/31</td> <td>55名</td> </tr> <tr> <td>サン・ファン渡波市民夏まつり</td> <td>中止</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>「渡波小学校縦割り遠足」オリエンテーリング</td> <td>中止</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>					事業名	開催日	来場者数	サン・ファン祭り	10/31	オンライン配信のみ	石巻JC企画ウッドレジンワークショップ(サン・ファン祭り同時開催)	10/31	55名	サン・ファン渡波市民夏まつり	中止	-	「渡波小学校縦割り遠足」オリエンテーリング	中止	-		
事業名	開催日	来場者数																				
サン・ファン祭り	10/31	オンライン配信のみ																				
石巻JC企画ウッドレジンワークショップ(サン・ファン祭り同時開催)	10/31	55名																				
サン・ファン渡波市民夏まつり	中止	-																				
「渡波小学校縦割り遠足」オリエンテーリング	中止	-																				
成果に係る評価	復元船サン・ファン・パウティスタ号の解体開始及び新型コロナウイルスの影響等により、年間を通じた利用者数が、前年と比較して約24,000人減少しているが、利用促進を図る取り組みとして、サン・ファン広場を中心に、安全な憩いの場の提供や遊具の設置等、地域の活性化や賑わいの創出などに努めた。 また、慶長使節船ミュージアムが施設改修のため、今後一時閉館することにも考慮し、サン・ファン・パウティスタパーク単体での誘客効果を見直すとともに、新たな事業、施策を検討し、来客の増加及び利用促進を図っていく。																					
予算の執行状況	(単位：円)																					
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																
	41,078,000	41,078,000				41,078,000																

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																													
	1 項	商工費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興																													
	3 目	観光費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する																													
担当課	産業部観光課		中 事 業	海水浴場管理運営費																														
実施計画掲載ページ	P 89		事 業 名	海水浴場開設事業																														
目的及び事業内容	夏の観光の目玉として、三陸の綺麗な海を海水浴場として開設する。 また、施設の安全対策の充実と利便性の向上に努め、海難事故防止を図るとともに、観光客や市民が安心して海に親しむためのレクリエーションの場として誘客を促進し、地域の活性化を図る。																																	
取組実績	1 市営海水浴場の開設 令和3年度は、令和元年度まで開設していた渡波・白浜・網地白浜海水浴場に加え、災害復旧を果たした荒浜海水浴場及び十八成浜海水浴場の計5か所で海水浴場が開設される予定となっていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開設を中止とした。																																	
	1 海水浴場入込数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>海水浴場名</th> <th>地区</th> <th>日数</th> <th>R3入込数(人)</th> <th>R2入込数(人)</th> <th>R1入込数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>渡波海水浴場</td> <td>市内</td> <td>-</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>8,659</td> </tr> <tr> <td>白浜海水浴場</td> <td>北上</td> <td>-</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>7,053</td> </tr> <tr> <td>網地白浜海水浴場</td> <td>牡鹿</td> <td>-</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>19,770</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>35,482</td> </tr> </tbody> </table>					海水浴場名	地区	日数	R3入込数(人)	R2入込数(人)	R1入込数(人)	渡波海水浴場	市内	-	0	0	8,659	白浜海水浴場	北上	-	0	0	7,053	網地白浜海水浴場	牡鹿	-	0	0	19,770	計			0	0
海水浴場名	地区	日数	R3入込数(人)	R2入込数(人)	R1入込数(人)																													
渡波海水浴場	市内	-	0	0	8,659																													
白浜海水浴場	北上	-	0	0	7,053																													
網地白浜海水浴場	牡鹿	-	0	0	19,770																													
計			0	0	35,482																													
成 果	2 今後開設する海水浴場 荒浜海水浴場、十八成浜海水浴場（新型コロナウイルスの影響により、令和3年度の開設が中止となるため、次年度に開設が延期となった。）																																	
成果に係る評価	令和2年度に引き続き2年連続で開設ができていない状況ではあったが、今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、開設地区住民との協議を重ねながら、開設に向けて準備をするとともに、事故等が無く、安心して観光客や市民が利用でき、なおかつ感染症予防対策が徹底できるような管理体制が必要と考える。																																	
予算の執行状況	(単位：円)																																	
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																												
	2,136,226	1,421,061				1,421,061																												

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		
	1 項	商工費		第 節		
	3 目	観光費		()		
担当課	産業部観光課		中 事 業	雄勝地域拠点エリア管理運営費		
実施計画掲載ページ			事 業 名	雄勝地域拠点エリア管理運営事業		
目的及び事業内容	雄勝地域における観光拠点施設である「雄勝硯伝統産業会館」と「雄勝観光物産交流館」の適切な管理運営と、施設を活用した観光事業の充実。道の駅として機能を活用し、来場者、交流人口の増大を図るもの。					
取組実績	<p>雄勝地域の観光・物産・産業等に関するPRや適切な管理運営を行うことを目的に指定管理者制度を活用し、以下の事業を実施する。</p> <p>指定管理者 視上の里おがつ運営協議会 会長 澤村 文雄 指定管理料 51,000,000円 指定管理期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日</p> <p>1 観光イベント事業・・・おがつ市等の開催（おがつ復興市実行委員会との共催） 2 物産PR事業・・・海産物直売所や雄勝硯伝統産業会館情報スタジオ等を活用した、海産物や伝統的工芸品である雄勝硯等の石製品のPR 3 広告宣伝事業・・・各施設パンフレットの充実やデジタルコンテンツを活用した情報発信事業 4 交流人口集客事業・・・企画展等の開催による文化的集客 5 施設の適正な管理・・・法的基準を満たす適正な施設管理効率的な施設活用の検討</p> <p>令和3年度 来場者 雄勝硯伝統産業会館 21,986人 雄勝観光物産交流館 104,618人 イベント 小規模イベントを実施 延べ8回 約12,000人来場 企画展 写真展等 7回開催 延べ7,000人来場</p>					
成 果	<p>各種事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により、小規模ではあったが相応の効果を上げ、令和2年度以上の来場者を確保できており、事業概要を含め適正であった。</p> <p>※指定管理初年度の令和3年度については、コロナ禍ではあったが道の駅効果により、予想以上の集客を図ることができた。今後はより快適な施設、道の駅として、多くの来場者が訪れる施設づくりを心掛け、地域振興に寄与するものと期待される。</p>					
成果に係る評価	<p>指定管理初年度である中、新型コロナウイルス感染症の影響などによるマイナス要因があったが、道の駅としてスタートしたというプラス要素もあり、前年度比1.7倍の126,604人の来場者数については、評価できるものであった。</p> <p>今後も、地域の交流拠点、観光拠点として多くの来場者が訪れるよう、指定管理者と協力連携していきたい。</p>					
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	51,000,000	51,000,000				51,000,000

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章																						
	1 項	商工費		第 節																						
	3 目	観光費		()																						
担当課	産業部観光課		中 事 業	北上観光物産交流センター管理運営費																						
実施計画掲載ページ			事 業 名	北上観光物産交流センター管理運営事業																						
目的及び事業内容	三陸復興国立公園での自然体験活動を通してエコツーリズム及び環境教育を推進するために環境省が整備したフィールドミュージアムエリア及び石巻・川のビジターセンター敷地内に、市が整備を行い、平成30年2月11日に開館した石巻市北上観光物産交流センターは、石巻市北上観光物産交流センター一条例に基づき、北上地域の観光物産情報の提供、地場産品等の展示及び販売を実施することにより、地場産業の振興及び地域交流の活性化を図る。																									
取組実績	<p>1 石巻市北上観光物産交流センター 所在地：石巻市北上町十三浜字東田1番地 開館時間：午前9時から午後5時まで 休館日：火曜日及び年末年始</p> <p>2 指定管理者：未来環境株式会社 3 指定管理料：5,600,000円（令和3年度） 4 指定管理期間：令和3年4月1日～令和8年3月31日 5 事業内容：(1)北上の観光案内・情報の発信 (2)北上の生産物及び加工品の展示販売 (3)北上の風景写真の展示等 (4)施設の適正な管理運営</p> <p>6 利用実績：入館者数 16,840人 7 イベント：令和3年度は、新型コロナウイルス感染予防対策を実施し、北上の生産物及び加工品の紹介、展示販売イベントを以下のとおり開催した。 (1)新わかめ即売会：令和4年1月～2月、計5日 (2)開館4周年記念セール：令和4年2月、計3日</p>																									
成 果	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、回数や規模は限られたものの地元事業者及び関係機関と連携しイベントを開催することで、観光、物産、産業のPR及び施設利用者の増加が図られた。</p> <p>また、地場産品や観光情報及び写真の展示方法の工夫や節電を行うなど施設の適正な管理と利用促進に努めた。</p> <p>※利用者数（年度別）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開館日数（日）</td> <td>42</td> <td>310</td> <td>282</td> <td>268</td> <td>307</td> <td>1,209</td> </tr> <tr> <td>入館者数（人）</td> <td>6,565</td> <td>22,678</td> <td>17,934</td> <td>11,760</td> <td>16,840</td> <td>75,777</td> </tr> </tbody> </table>					年度	H29	H30	R1	R2	R3	計	開館日数（日）	42	310	282	268	307	1,209	入館者数（人）	6,565	22,678	17,934	11,760	16,840	75,777
年度	H29	H30	R1	R2	R3	計																				
開館日数（日）	42	310	282	268	307	1,209																				
入館者数（人）	6,565	22,678	17,934	11,760	16,840	75,777																				
成果に係る評価	<p>近隣施設と連携してイベント等を開催することで、地域での周遊及び滞在時間を延長し、北上地区の観光物産振興を図ることを目指していたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、大々的なイベントの実施や開催に係る周知を行うことができず、イベント開催回数及び開催規模は想定を下回るものとなった。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大により臨時休館した令和元年度及び令和2年度と比較して、開館日数は従来通りとなり、入館者数は微増したものの、新型コロナ前の水準への回復、さらなる交流人口の増加を目指し継続して事業を実施していく。</p>																									
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	5,600,000	5,600,000				5,600,000																				

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		
	1 項	商工費		第 節		
	3 目	観光費		()		
担当課	産業部観光課		中 事 業	牡鹿地域拠点エリア管理運営費		
実施計画掲載ページ			事 業 名	牡鹿地域拠点エリア管理運営事業		
目的及び事業内容	<p>おしかホエールランドや情報交流館の機能を併せ持った観光物産交流施設などを牡鹿地域拠点エリアとして運営し、環境省が整備する牡鹿半島ビジターセンターと連携しながら、牡鹿地域の水産・観光の振興、観光客と市民との交流の促進及び地域の活性化を図る。</p> <p>また、環境省及び地域団体と共に牡鹿半島ビジターセンター運営協議会を設置し、ビジターセンターを拠点とした自然体験活動を通して、エコツーリズム及び環境教育を推進することにより、地域の自然環境保全及び活性化に寄与する。</p>					
取組実績	<p>1 牡鹿地域拠点エリア 施設概要</p> <p>(1) おしかホエールランド：鯨に関する資料の収集、展示及び歴史・文化の継承口</p> <p>(2) 観光物産交流施設：地域特産品等の展示・販売、地域情報の発信及び交流促進</p> <p>2 牡鹿地域拠点エリア 管理業務</p> <p>(1) 指定管理者：一般社団法人鮎川まちづくり協会</p> <p>(2) 指定管理期間：令和元年9月1日～令和6年3月31日</p> <p>(3) 指定管理料：42,000,000円</p> <p>(5) 業務内容 ア管理施設の利用の許可に関する業務 イ利用料金の收受、減免及び還付に関する業務 ウ管理施設の維持管理に関する業務</p> <p>3 牡鹿地域拠点エリア 利用実績</p> <p>(1) 観光物産交流施設全般：166,134人</p> <p>(2) インフォメーションコーナー：7,971人</p> <p>(3) テナント（7事業者）合算人数：51,085人</p> <p>(4) おしかホエールランド：15,344人 (令和4年3月16日発生の地震被害を受け、復旧作業のため令和4年3月16日～5月29日まで閉館)</p> <p>(5) 指定管理業務によるイベント：2回</p> <p>(6) 自主事業によるイベント：6回</p> <p>4 牡鹿半島ビジターセンター運営協議会事業</p> <p>(1) 活動拠点となる牡鹿半島ビジターセンターの運営に関する事業</p> <p>(2) 自然体験活動プログラムの企画・実施に関する事業</p> <p>(3) 三陸復興国立公園及びその周辺の各種情報の収集・提供に関する事業</p> <p>(4) 運営協議会負担金：9,100,000円</p> <p>5 牡鹿半島ビジターセンター運営協議会事業実績</p> <p>(1) 各種研修会の実施：7回開催、40名参加</p> <p>(2) セミナー・イベント等実施：14回開催、延べ357名参加</p> <p>6 牡鹿半島ビジターセンター 入館者数：38,444人</p>					
成 果	<p>令和3年度は、観光物産交流施設及びおしかホエールランドの管理運営を行い、引き続き新型コロナウイルス感染予防対策を図りながら、指定管理事業及び自主事業を実施し、また、牡鹿半島ビジターセンターが行う簡易プログラム等と連携することで、牡鹿地域の魅力発信と交流人口の拡大に努めた。</p> <p>また、牡鹿半島ビジターセンター運営協議会事業として、牡鹿地域の魅力を再発見する簡易プログラムや環境教育につながる研修会・セミナー等を企画し、コロナ禍であっても、できる範囲で事業を実施した。</p>					
成果に係る評価	<p>牡鹿地域拠点エリア指定管理者は適切な施設の運営管理に努めており、コロナ禍におけるイベントの開催についても、新型コロナウイルス感染拡大予防策を徹底しながら開催し、来館者に対しても懇切丁寧なインフォメーションを行っており、牡鹿地域の魅力発信及び来館者数の増加に努めている。</p> <p>年間の来館者数については、観光交流物産施設全般で約16.6万人、おしかホエールランドで約1.5万人の来館実績であった。</p> <p>牡鹿半島ビジターセンター運営協議会事業は、新型コロナウイルス感染予防策のため、規模を縮小してのイベント開催であったが、牡鹿地域拠点エリアへの誘客に貢献している。</p>					
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	51,100,000	51,100,000				51,100,000

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち											
	1 項	商工費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興											
	3 目	観光費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する											
担当課	産業部観光課		中 事 業	御番所公園管理費												
実施計画掲載ページ	P 93		事 業 名	御番所公園再整備事業												
目的及び事業内容	御番所公園をより快適に利用することができ、施設の魅力を高めるため、公衆トイレを再整備するとともに、案内板や天の川橋の改修、ベンチや東屋の修繕、遊具や一部園路の再整備を行う。															
取組実績	<p>御番所公園再整備事業として、下記事業を実施した。</p> <p>1 公衆便所新築</p> <p>(1) 木造平屋建て 延べ面積34.78㎡</p> <p>(2) 上記に伴う付帯電気設備工事</p> <p>(3) 上記に伴う付帯機械設備工事</p> <p>2 既存公衆便所解体</p> <p>(1) 木造(丸太組構法)平屋建て 延べ面積20.38㎡</p> <p>(2) 上記に伴う付帯電気設備撤去工事</p> <p>(3) 上記に伴う付帯機械設備撤去工事</p> <p>3 利用実績</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td></td> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R2</td> <td>R3</td> </tr> <tr> <td>入園者数(人)</td> <td>54,720</td> <td>28,752</td> <td>31,249</td> <td>57,990</td> </tr> </table>							H30	R1	R2	R3	入園者数(人)	54,720	28,752	31,249	57,990
	H30	R1	R2	R3												
入園者数(人)	54,720	28,752	31,249	57,990												
成 果	<p>◆令和3年度末事業進捗率</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>工事名称</td> <td>事業進捗率</td> </tr> <tr> <td>おしか御番所公園トイレ施設新築その他工事</td> <td>100%</td> </tr> </table>						工事名称	事業進捗率	おしか御番所公園トイレ施設新築その他工事	100%						
工事名称	事業進捗率															
おしか御番所公園トイレ施設新築その他工事	100%															
成果に係る評価	<p>交流人口の拡大を図るために、御番所公園の公衆トイレの撤去及び新築工事を行い、施工業者や関係部署等との連携により、計画通りに新築工事が完了し、事業の進捗が図られた。</p> <p>また、事業の実施にあたっては、令和3年度宮城県自然環境整備交付金を活用しており、今後の事業の実施にあたっては同交付金の活用を検討していることから、引き続き、宮城県等と連携し、計画的に事業を推進していく。</p>															
(単位：円)																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源										
	46,918,600	46,918,300	23,459,000	23,400,000		59,300										

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章																															
	1 項	商工費		第 節																															
	3 目	観光費		()																															
担当課	産業部観光課		中 事 業	家族旅行村管理運営費																															
実施計画掲載ページ			事 業 名	家族旅行村管理事業																															
目的及び事業内容	おしか家族旅行村オートキャンプ場を運営することにより、自然の中での健全な観光レクリエーションを楽しむ場を確保し、自然との調和を図りつつ、健康と福祉の増進及び観光産業の振興を図る。																																		
取組実績	<p>1 おしか家族旅行村オートキャンプ場 概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設：管理棟 1棟（事務室、ロビー、便所、倉庫及び休憩室） サンタリー棟 1棟（炊事室、洗面所、便所及びシャワー室） 個別サイト 31か所（電源付サイト：5カ所、サイトA：23カ所、サイトB：3カ所） ケビン棟 6棟（A棟：4棟、B棟：2棟） <p>2 管理業務</p> <p>(1) 指定管理者 太平ビルサービス株式会社石巻営業所</p> <p>(2) 指定管理期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日</p> <p>(3) 指定管理料 8,000,000円</p> <p>(4) 事業内容</p> <p>ア 施設管理運営</p> <p>イ 施設維持管理</p> <p>ウ 自主事業（売店、レンタル等）</p> <p>(5) 利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数（ケビン棟）</td> <td>317</td> <td>434</td> <td>392</td> <td>393</td> <td>471</td> </tr> <tr> <td>利用件数（個別サイト）</td> <td>421</td> <td>891</td> <td>1,228</td> <td>2,103</td> <td>2,391</td> </tr> <tr> <td>利用者数（人）</td> <td>3,329</td> <td>4,641</td> <td>6,146</td> <td>7,628</td> <td>9,377</td> </tr> <tr> <td>利用金額（円）</td> <td>9,800,100</td> <td>12,436,200</td> <td>15,598,550</td> <td>16,874,623</td> <td>21,112,900</td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本オートキャンプ協会費 50,000円 <p>3 修繕費（市）、手数料（市）</p> <ul style="list-style-type: none"> 鹿柵修繕等 3件 1,952,500円 						H29	H30	R1	R2	R3	利用件数（ケビン棟）	317	434	392	393	471	利用件数（個別サイト）	421	891	1,228	2,103	2,391	利用者数（人）	3,329	4,641	6,146	7,628	9,377	利用金額（円）	9,800,100	12,436,200	15,598,550	16,874,623	21,112,900
		H29	H30	R1	R2	R3																													
利用件数（ケビン棟）	317	434	392	393	471																														
利用件数（個別サイト）	421	891	1,228	2,103	2,391																														
利用者数（人）	3,329	4,641	6,146	7,628	9,377																														
利用金額（円）	9,800,100	12,436,200	15,598,550	16,874,623	21,112,900																														
成 果	<p>自然の中で健全な観光レクリエーションの場を提供することで観光産業の振興を図るとともに、施設の修繕等を実施し維持管理に努めている。</p> <p>施設の運営管理については、新型コロナウイルス感染拡大予防策を徹底し、インターネットによる利用予約受付に加え、情報誌、ラジオ、テレビCMを活用した情報発信や、ホエールタウンおしか等の観光施設と相乗効果が図られるように相互に情報発信することで、施設の稼働率は高く推移しており、利用状況は良好であった。</p> <p>年間の利用者数は令和2年度の実績から1,749人増加の9,377人と大幅に伸ばしており、利用者数の増加に伴い、施設利用料収入も増加している。</p>																																		
成果に係る評価	<p>コロナ禍におけるアウトドアブームにより需要が増加している中、インターネットによる利用予約受付やテレビCM等による情報発信に努めて利用者の増加に繋げることができた。</p> <p>老朽化や地震被害により施設の修繕が必要な箇所が増えているものの、施設の修繕や維持管理に努め、利用者の満足度を高めることでリピーターの確保に繋げていきたい。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症に対しては、引き続き、感染拡大予防策を徹底し、感染状況を注視しながらも事業の継続に努めていきたい。</p>																																		
（単位：円）																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																													
	10,078,620	10,062,120				10,062,120																													

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	
	1 項	商工費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興	
	3 目	観光費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する	
担当課	産業部観光課		中 事 業	石巻圏DMO推進事業費		
実施計画掲載ページ	P91		事 業 名	いしのまき版DMO運営推進事業		
目的及び事業内容	着地型観光を推進する「石巻圏観光推進機構」により、官民・地域間連携のもと、広域的な観光振興を推進するプラットフォームとして、地域資源を活用し戦略的に観光客の誘客を推進し、石巻圏への交流人口拡大を図る。					
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進 理事会出席 4回/年 総会出席 1回/年 その他必要に応じて打合せを実施。 DMO事業 【公益事業】 インバウンド推進事業（プロモーション、情報発信、観光コンテンツ開発） サイクルツーリズム事業（牡鹿半島チャレンジライド、石巻基地ランウェイライド） －レンタサイクル貸出実績 2,503台（986件） 教育旅行事業（受入実績2校 323名） データ収集、分析事業（観光客動態調査、石巻圏への観光施策提案） 石巻エリアファンクラブ事業 他 【収益事業】 旅行業 コンテンツ開発事業 映像コンテンツ作成事業 業務委託事業（田代島マンガアイランド予約受付業務） ECサイト事業 他 					
	成 果	<p>新型コロナウイルス感染症の蔓延により、自主企画コンテンツや教育旅行等で圏域観光客数が減少する中、令和3年3月に「登録観光地域づくり法人」の観光庁認定を受けたことから、種々の補助事業を直接、申請・受給することが可能となり、「滞在型ツアー・ワーケーション推進事業」や「既存観光拠点再生・高付加価値化推進事業」、「商店街グローアップ支援事業」等、実証実験等の事業を積極的に実施することができ、アフターコロナを見据えた広域観光産業の振興に有効なデータ回収が出来た。</p> <p>また、オンラインを活用したインバウンド推進や教育旅行セールスも積極的に展開し、次年度以降の事業展開に弾みをつけた。</p> <p>本市の事業としては、東松島市、女川町との情報共有・連携を深め、次年度から、より率直な意見交換と情報共有が計れるよう連携会議等の定期的な開催を行う。またDMOに対しては各種事業支援を行うとともに、開設5年が経過した中での自立に向けた運営展開が出来るよう助言を随時行った。</p>				
成果に係る評価	<p>新型コロナウイルス感染症の蔓延により、今年度も順風満帆な運営とはいかなかったものの、アフターコロナを見据えた運営・事業推進に重心を移し実証実験等で消費者ニーズの把握活動を推進したことは、次年度以降の運営の大きな指標となるべく活動であったと評価出来るものとする。</p> <p>今後は開設5年の経過による事業推進ノウハウを生かしつつ、組織内の体制強化に努めてもらい、広域圏観光誘客の増加を図っていく。</p> <p>本市としては、近年の「広域観光の在り方」を鑑み広域連携の重要性が高まっていることから、DMO及び東松島市、女川町、観光関係者と連携し、より情報共有を推進して交流人口の拡大を図っていく。</p>					
（単位：円）						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源
	16,000,000	16,000,000				16,000,000